

2007 年春季年会

年会プログラム

於 東海大学

2007 年 3 月 28 日 (水) ~ 3 月 30 日 (金)

日本天文学会

日本天文学会 2007 年春季年会プログラム

期 日 2007 年 3 月 28 日 (水) ~ 3 月 30 日 (金)

場 所 東海大学 (神奈川県平塚市北金目 1117)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2007 年 3 月 27 日 (火) ~ 3 月 31 日 (土) >

日 程

月 日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
3月27日 (火)							記者会見					
3月28日 (水)	A	T. 銀 河 団		昼休み (理事会)	ポスター	T. 銀河団 / J. 高密度星		ALMA 特別セッ ション (D会場)	天文教育 フォーラム (D会場)			
	B	L. 太 陽 系				L. 太陽系 / M. 太陽						
	C	K. 超新星爆発				K. 超新星爆発						
	D	Q. 星 間				Q. 星 間						
	E	U. 宇 宙 論				X. 銀 河 形 成						
	F	S. 銀 河 核				S. 銀 河 核						
	G	Y. 教 育・他				Y. 教育・他 / W. 飛翔観						
	H	ジュニアセッション				ジュニアセッション						
3月29日 (木)	A	J. 高 密 度 星		昼休み (評議員会)	ポスター	J. 高 密 度 星		総 会 受 付 終 了 席 者 確 認 (H会場)	受 賞 記 念 講 演	懇 親 会		
	B	M. 太 陽				M. 太 陽						
	C	P. 星・惑 星				P. 星・惑 星						
	D	Q. 星 間				Q. 星 間						
	E	X. 銀 河 形 成				X. 銀 河 形 成						
	F	V. 地 上 観				V. 地 上 観						
	G	W. 飛 翔 観				W. 飛 翔 観						
3月30日 (金)	A	J. 高 密 度 星			昼休み	ポスター	J. 高 密 度 星					
	B	M. 太 陽					M. 太 陽					
	C	P. 星・惑 星					P. 星・惑 星					
	D	N. 恒 星					N. 恒 星					
	E	R. 銀 河					R. 銀 河					
	F	V. 地 上 観					V. 地 上 観					
	G	W. 飛 翔 観					W. 飛 翔 観					
3月31日 (土)							公開講演会					
		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

A 会場 : 14 号館 1F (103 教室)
 B 会場 : 14 号館 1F (104 教室)
 C 会場 : 14 号館 2F (201 教室)
 D 会場 : 14 号館 2F (202 教室)
 E 会場 : 14 号館 2F (203 教室)
 F 会場 : 14 号館 2F (204 教室)
 G 会場 : 14 号館 2F (211 教室)
 H 会場 : 11 号館 4F (401 教室)

受 付 : 14 号館 1F (102 教室)
 会議室 : 14 号館 1F (14-1)
 ポスター会場 : 14 号館 B1 (エントランスホール)
 展示コーナー : 14 号館 B1 (エントランスホール)
 懇親会会場 : コムスクエアホール

◎講演数

講演数：合計 628

(口頭講演 (a)：376、ポスター講演 (b)：202、ポスター講演 (c)：50)

ジュニアセッション講演数：合計 40

(口頭+ポスター：38、ポスターのみ：2)

◎参加登録について（参加者は、当日必ず参加登録をして下さい。）

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付（14号館 1F 102教室）

○参加登録受付時間：9：30～16：00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※領収書が必要な方は、参加費用支払い時にお申し出下さい。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場で行います。口頭講演（添字 a）は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演（添字 b）は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表（添字 b）、（添字 c）は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3 月 28 日の 9：30 から 3 月 30 日の 14：30 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP または液晶プロジェクターをご使用下さい。液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のため OHP での発表もできるようにしておいてください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、液晶プロジェクターを使用される方は、事前に PC をケーブルにつないでおいてください。

◎会期中の行事

1. 記者会見： 27日(火) 14:00～15:00 東海大学 14号館
年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。 会議室(14-1)
2. 理事会： 28日(水) 12:00～13:00 会議室(14-1)
3. ALMA 特別セッション： 28日(水) 16:05～17:05 D会場
4. 天文教育フォーラム： 28日(水) 17:10～18:10 D会場
5. 評議員会： 29日(木) 12:00～13:00 会議室(14-1)
6. 総会： 29日(木) 16:00～17:30 H会場
(16:00～16:30 総会出席者確認、16:30 総会開始)
各賞の受賞
○ 2006年度事業報告
○ 2006年度決算報告
○ 監査報告
7. 林忠四郎賞受賞記念講演： 29日(木) 17:30～18:00 H会場
「太陽系から系外惑星系へ、生命へ」 井田 茂(東京工業大学・教授)
8. 懇親会： 29日(木) 18:30～ コムスクエアホール
9. 公開講演会： 31日(土) 14:00～17:30 東海大学 11号館

◎ ALMA 特別セッション

主 催： 国立天文台 ALMA 推進小委員会

テ ー マ： 「ALMA 特別セッション：プロポーザル準備から観測データを手にするまで」

日 時： 2007年3月28日(水) 16:05～17:05

場 所： D会場

概 要： アタカマ大型ミリ波サブミリ波アレイ(ALMA)は、ミリ波サブミリ波帯でかつてない高感度および高空間分解能での分光撮像を可能とする超大型地上観測装置計画です。現在、我が国を中心とする東アジア地域の他、北米および欧州をあわせた三極での国際共同建設が順調に進んでおります。

今回のALMA特別セッションでは、詳細な検討が進みつつあるALMA運用計画、中でも、プロポーザル準備からその審査を経て、実際に観測が実行されデータを手にするまで、について取り上げます。

特に、観測プロポーザルがどのようなプロセスを経て審査され、観測実行に至るか、という、将来のALMAユーザーにとっての重大な関心事について、従来説明していた方針から大きな変更が生じております。このプロポーザル審査にかかわる変更点を中心に、みなさまへのご説明と質疑を行います。ALMAによる観測に興味をお持ちの皆様、どうぞ奮ってご参加下さい。

プログラム： 1. "Progress of ALMA construction"

Tony Beasley (Joint ALMA Office, ALMA Project Manager)

2. 「ALMAの運用プラン」

川辺良平(国立天文台ALMA推進室、ALMA-J Project Scientist)

3. 「ALMAのプロポーザル審査」

山本智(東京大学; Chair of East-Asia ALMA Science Advisory Committee)

4. 質疑

世 話 人： 川辺良平(国立天文台ALMA推進室; ryo.kawabe@nao.ac.jp)

大西利和(名古屋大学; ohnishi@a.phys.nagoya-u.ac.jp)

河野孝太郎(東京大学; kkohno@ioa.s.u-tokyo.ac.jp)

◎天文教育フォーラム

共 催：天文教育普及研究会

テ ー マ：「どう教える新しい太陽系像－冥王星問題を発端に－」

日 時：2007年3月28日(水) 17:10～18:10

場 所：D会場

概 要：2006年8月24日、プラハで開催された国際天文学連合(IAU)の総会において「惑星の定義」が決議され、その結果、冥王星は惑星ではなくなり、太陽系惑星が海王星までの8個となりました。このことをマスコミ等の報道では、「冥王星、惑星から降格」とか「小さくなった太陽系」など、ネガティブな印象の言葉で表現された場合もありました。しかし実際には、この決議は近年の天文学、惑星科学の大きな進歩に基づくものであり、太陽系天体の理解の進展を反映しています。また従来の認識と比べると、太陽系の大きさはより大きくなりました。つまり、今回の決議に関する太陽系の理解や認識の変更は、科学が着実に進歩していることを示す非常に良い、具体的な例となっています。

一方、学校教育の現場は、現在の宇宙像・科学の姿を国民に知らせるうえで大変重要な場であり、学会としてもどのような考えをもって児童・生徒に新しい太陽系像を伝えていくかということが重要な課題となります。また、文部科学省も、この新しい太陽系像の件に関しては、教科書を速やかに訂正することを表明していますので、学校教育現場でも、太陽系については、注目せざるを得ない教材になると思われれます。

そこで今回は、この新しい太陽系像を、学校教育の現場でどのように活用するかに焦点を当て、研究者および教育者、さらに教科書編集者のそれぞれの立場から、関連する話題の提供をしていただき、新しい太陽系像の理解と、その教え方、伝え方についての情報を交換することを目的とします。

講 演：1「新しい太陽系像をめぐって」

[研究者として] 渡部潤一(国立天文台)

2「どう教える新しい太陽系像 冥王星問題をきっかけに」

[学校教育者として] 五島正光(巣鴨中学・高等学校)

3「どうなる教科書」

[教科書編集者として] 川戸秀夫(大日本図書株式会社)

司 会：沢 武文(愛知教育大学)

実行委員： 沢 武文 (愛知教育大学)、直井雅文(埼玉県立越谷北高等学校)、
森 淳(兵庫県立西はりま天文台公園)、松下恭子(東京理科大学)

◎日本天文学会公開講演会

後援：平塚市教育委員会、秦野市教育委員会、伊勢原市教育委員会、
伊勢原市立子ども科学館、東海大学、NHK 横浜放送局、
テレビ神奈川、朝日新聞社、毎日新聞社、神奈川新聞社

テ ー マ : 「ミクロとマクロの宇宙の不思議 ～地下にもぐって宇宙を観る～」

日 時 : 2007年3月31日(土) 14:00～17:30 (開場 13:30)

場 所 : 東海大学湘南キャンパス 11号館4階 401教室

対 象 : 主に中学生以上の生徒と学生・一般

趣 旨 : 天文観測は、地上や宇宙空間から行うだけではありません。地下から観測することもあります。そのよい例として、スーパーカミオカンデによるニュートリノ観測と重力波検出器による重力波観測の、それぞれの成果と現状について講演していただきます。また、昨年話題になった冥王星騒動の現況を最新情報として提供します。

講 演 I : 「ニュートリノ、ニュートリノそしてニュートリノ」

講 演 者 : 小柴昌俊 (東京大学特別荣誉教授)

講 演 II : 「アインシュタインが奏でる宇宙からのメロデー：重力波」

講 演 者 : 川村静児 (国立天文台助教授)

情 報 提 供 : 「冥王星をどうとらえるか ―惑星の定義、最新情報―」

提 供 者 : 渡部潤一 (国立天文台助教授)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。

春季年会会場(東海大学)のご案内



東海大学 http://www.u-tokai.ac.jp/traffic_guide/

(1) 小田急小田原線：

新宿から急行(前方6両に乗る)で約80分、小田原から急行で約30分。

- ① 「東海大学前」駅南口から徒歩15分。東門を入ってすぐ左手に14号館。
- ② 「鶴巻温泉」駅北口から、神奈川中央交通(神奈中)バス<下大槻団地行き>、<秦野駅行き>で、「東海大学北門」下車。所要時間約10分。本数は少ない。
- ③ 「東海大学前」駅からタクシーで、東海大学東門下車、初乗り料金くらいで、所要時間約5分。「鶴巻温泉」駅からタクシーで、同じく約7-8分。

(2) JR 東海道線：

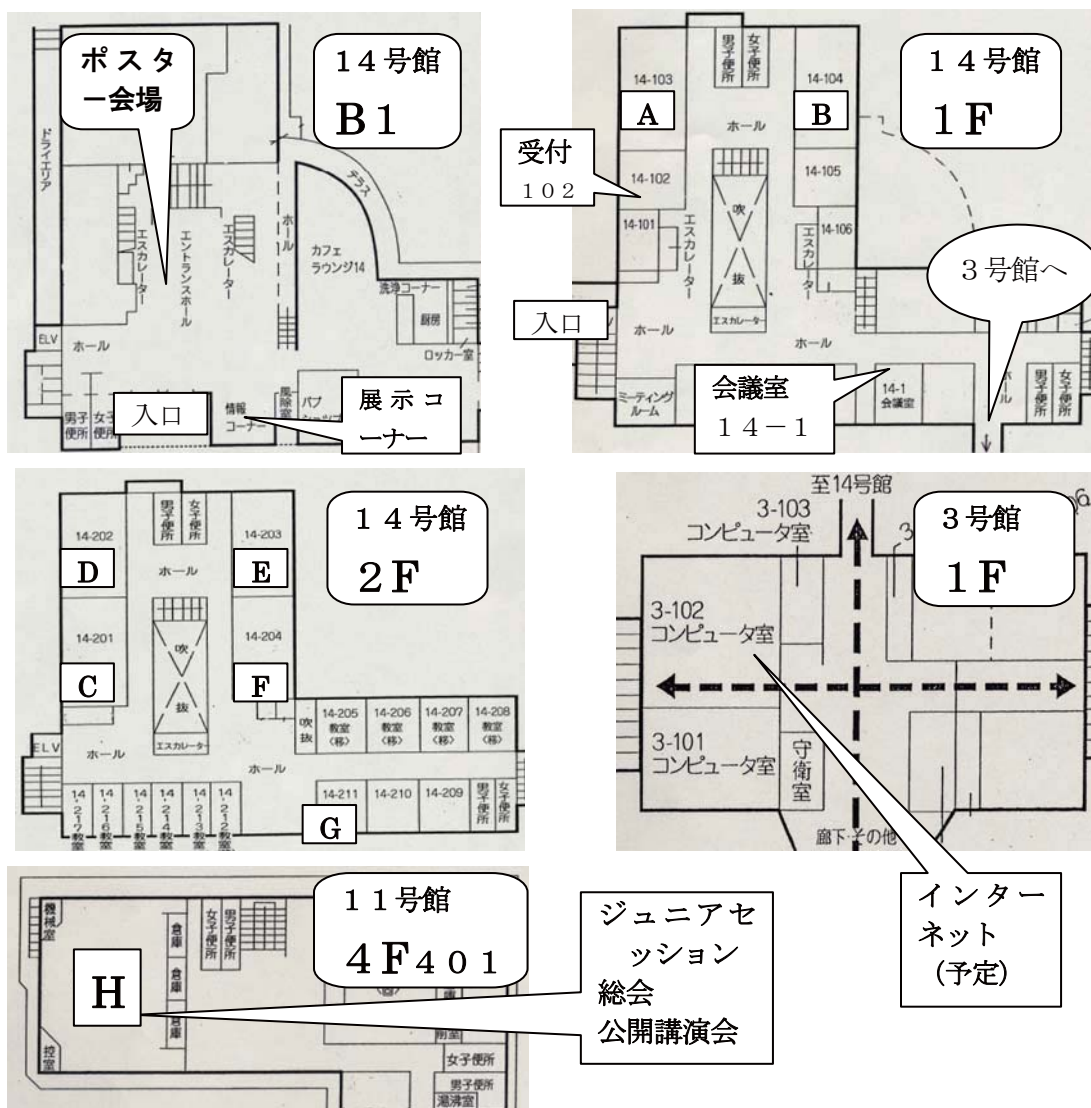
「平塚」駅北口バスロータリーで、神奈中バス <秦野駅行き>に乗り「東海大学正門前」下車(約40分)、徒歩12分；<東海大学行き>に乗り終点下車(約40分)、徒歩7分。

*備考：車などでのご来場は、ご遠慮下さい。(入構出来ません。)



キャンパス図

年会会場案内図（東海大学）



昼食:

学生食堂(BaB restaurant) : 8号館 1F, COM SQUARE, ログハウス,

14号館 B1 (営業予定) : 100席以上

松前記念館 1F (喫茶室, 軽食) : 20席程度

一般の食堂 : 学外の北門付近に3-4軒あります。

年会開催地 HP:

<http://www.sp.u-tokai.ac.jp/universe/asj2007a/>

□頭セッション 3月28日(水)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
	【銀河団】	【太陽系】	【超新星爆発】	【星 間】	【宇宙論】	【銀河核】	【教育】	【ジュニア】
10:00	T01a	L01b - L03b	K01a	Q01a	U01b - U03b	S01a	Y01a	01 S 18
10:12	T02a	L04a	K02a	Q02a	U04a	S02a	Y02a	
10:24	T03a	L05a	K03a	Q03a	U05a	S03a	Y03a	
10:36	T04a	L06a	K04a	Q04a	U06a	S04a	Y04a	
10:48	T05a	L07a	K05a	Q05a	U07a	S05a	Y05a	
11:00	T06a	L08a	K06a	Q06a	U08a	S06a	Y06a	
11:12	T07a	L09a	K07a	Q07a	U09a	S07a	Y07a	
11:24	T08a	L10a	K08a	Q08a	U11a	S08a	Y08b - Y10b	
11:36	T09a	L11a	K09a	Q09b - Q11b	U12a	S09a	Y11b - Y13b	
11:48	T10b - T12b	L12b,L14b, L16b	K10a	Q12b - Q14b	U13a	S10b - S12b	Y14b,Y15b	
12:00	-	L18b	K11a	-	U14a	-	-	
12:12	-	-	-	-	U15b,U16b	-	-	
12:00	昼休み							
13:00	ポスター							
	【銀河団/ 高密度星】	【太陽系/太陽】	【超新星爆発】	【星 間】	【銀河形成】	【銀河核】	【教育/飛翔観】	【ジュニア】
14:00	T14a	L19a	K12a	Q15a	X01a	S15a	Y16a	19 S 40
14:12	T16a	L20a	K13b - K15b	Q16a	X02a	S16a	Y17a	
14:24	T17a	L21a	K16a	Q17a	X03a	S17a	Y18b - Y20b	
14:36	T18b,T19b	L22a	K17a	Q18a	X04a	S18a	Y21b,Y24b, Y25b	
14:48	J01a	L23a	K18a	Q19a	X05a	S19a	Y26b - Y28b	
15:00	J02a	M01a	K19a	Q20a	X06a	S20a	W01a	
15:12	J03a	M02a	K20a	Q21a	X07a	S21a	W02b - W04b	
15:24	J04a	M03b - M05b	K21a	Q22a	X08a	S22b - S24b	W05b - W07b	
15:36	J05a	M06a	K22a	Q23a	X09a	-	W08b - W10b	
15:48	J06a	M07a	K23b	Q24a	X10a	-	W11b,W12b	
16:05	ALMA 特別セッション (D 会場)							
17:10	天文教育フォーラム (D 会場)							

□頭セッション 3月29日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
	【高密度星】	【太陽】	【星・惑星】	【星間】	【銀河形成】	【地上観】	【飛翔観】	
10:00	J08a	M08a	P01a	Q25a	X11a	V01a	W14a	
10:12	J09a	M09a	P02a	Q26a	X12b - X14b	V02a	W15a	
10:24	J10a	M10a	P03a	Q27a	X15a	V03a	W16a	
10:36	J11a	M11a	P04a	Q28a	X16a	V04a	W17a	
10:48	J12b - J14b	M12a	P05b - P07b	Q29b - Q31b	X17a	V05a	W18a	
11:00	J15a	M13b - M15b	P08b - P10b	Q32a	X18a	V06b - V08b	W19a	
11:12	J16a	M16b, M21b, M22b	P11a	Q33a	X19a	V10a	W20a	
11:24	J17a	M23b - M25b	P12a	Q34b - Q36b	X21a	V11a	W21b - W23b	
11:36	J18a	M26b - M28b	P13a	Q37a	X22a	V12a	W24b - W26b	
11:48	J19a	M29b	P14b, P15b, P18b	Q38a	X23b - X25b	V13a	W27b	
12:00	J20a	-	P20b, P21b	-	X26b	-	-	
12:12	J21b, J22b	-	-	-	-	-	-	
12:00	昼休み							
13:00	ポスター							
	【高密度星】	【太陽】	【星・惑星】	【星間】	【銀河形成】	【地上観】	【飛翔観】	
14:00	J23a	M31a	P22a	Q39a	X27a	V14a	W29a	
14:12	J24a	M32a	P23a	Q40a	X28a	V15a	W30a	
14:24	J25a	M33a	P24a	Q41a	X29a	V17b, V18b, V20b	W31a	
14:36	J27a	M34a	P25a	Q42a	X30a	V21a	W32a	
14:48	J28a	M35a	P26a	Q43a	X31a	V22a	W33a	
15:00	J29a	M36a	P27a	Q44a	X32a	V23b - V25b	W34a	
15:12	J30a	M37a	P28a	Q45a	X33a	V26b - V28b	W35b - W37b	
15:24	J31a	M38a	P29a	Q46a	X34a	V29a	W38b, W39b	
15:36	J32a	M39a	P30a	-	X35a	V30a	W40a	
15:48	J33a	M40a	P31b, P33b, P36b	-	-	V31b - V33b	W41a	
16:00	総 会 (H会場)							
17:30	受賞記念講演 (H会場)							
18:30	懇 親 会							

□頭セッション 3月30日(金)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【高密度星】	【太陽】	【星・惑星】	【恒星】	【銀河】	【地上観】	【飛翔観】
10:00	J34a	M41a	P37a	N01a	R01b - R03b	V34a	W43a
10:12	J35a	M42a	P38a	N02a	R05a	V35a	W44b - W46b
10:24	J36a	M43a	P39a	N03a	R06a	V36b,V38b, V39b	W47a
10:36	J37a	M44a	P40a	N04a	R07a	V40a	W48a
10:48	J38a	M45a	P41a	N05a	R08a	V41a	W49a
11:00	J39a	M46a	P42a	N06a	R09a	V42a	W50a
11:12	J40a	M47a	P43a	N07a	R10a	V43a	W51a
11:24	J41b - J43b	M48a	P44a	N08a	R11a	V44a	W52b - W54b
11:36	J44a	M49a	P45a	N09b,N10b, N13b	R12a	V45b - V47b	W55a
11:48	J45a	M50a	P46a	N14b,N15b, N17b	R14b - R16b	V48a	W56a
12:00	J46b - J48b	M51a	P47a	N18b - N20b	R17b,R19b, R20b	V49b - V51b	W57b - W59b
12:12	J51b - J53b	M52a	P48a	N21b - N23b	R22b - R24b	V52b - V54b	-
12:24	J54b,J55b	-	P49b,P50b	N24b,N25b	R25b,R26b	V55b - V57b	-
12:36	-	-	-	-	-	V58b	-
12:30	昼休み						
13:30	ポスター						
	【高密度星】	【太陽】	【星・惑星】	【恒星】	【銀河】	【地上観】	【飛翔観】
14:30	J57a	M54a	P51a	N26a	R27a	V60a	W60a
14:42	J58a	M55a	P52a	N27a	R28a	V61a	W61a
14:54	J59a	M56a	P53a	N28a	R29a	V62a	W62a
15:06	J60a	M57a	P54a	N29a	R30a	V63a	W63a
15:18	J61a	M58a	P55a	N30a	R31a	V64a	W64a
15:30	J62a	M59a	P56a	N31a	R32a	V65a	W65a
15:42	J63a	M60a	P57a	N32a	R33a	V66a	W66a
15:54	J64a	M61a	P58a	N33a	R34a	V67a	W67a
16:06	J65a	M62a	P59a	N34a	R35a	V68a	W68a
16:18	J66a	M63a	P60a	N36a	R36a	V69a	W69a
16:30	J67a	-	P61a	N37a	R37a	V70a	W70a
16:42	-	-	P62a	-	R38a	-	-
16:54	-	-	P63a	-	-	-	-

ポスターセッション 3月28日(水) ~ 3月30日(金)

【高密度星】(21)					【活動銀河核】(11)				
J07c	J12b	J13b	J14b	J21b	S10b	S11b	S12b	S13c	S14c
J22b	J26c	J41b	J42b	J43b	S22b	S23b	S24b	S25c	S26c
J46b	J47b	J48b	J49c	J50c	S27c				
J51b	J52b	J53b	J54b	J55b					
J56c					【銀河団】(7)				
【超新星爆発】(4)					T10b	T11b	T12b	T13c	T15c
K13b	K14b	K15b	K23b		T18b	T19b			
【太陽系】(10)					【宇宙論】(7)				
L01b	L02b	L03b	L12b	L13c	U01b	U02b	U03b	U10c	U15b
L14b	L15c	L16b	L17c	L18b	U16b	U17c			
【太陽】(22)					【地上観測機器】(36)				
M03b	M04b	M05b	M13b	M14b	V06b	V07b	V08b	V09c	V16c
M15b	M16b	M17c	M18c	M19c	V17b	V18b	V19c	V20b	V23b
M20c	M21b	M22b	M23b	M24b	V24b	V25b	V26b	V27b	V28b
M25b	M26b	M27b	M28b	M29b	V31b	V32b	V33b	V36b	V37c
M30c	M53c				V38b	V39b	V45b	V46b	V47b
【恒星】(19)					V49b	V50b	V51b	V52b	V53b
N09b	N10b	N11c	N12c	N13b	V54b	V55b	V56b	V57b	V58b
N14b	N15b	N16c	N17b	N18b	V59c				
N19b	N20b	N21b	N22b	N23b	【飛翔体観測機器】(35)				
N24b	N25b	N35c	N38c		W02b	W03b	W04b	W05b	W06b
【星・惑星形成】(22)					W07b	W08b	W09b	W10b	W11b
P05b	P06b	P07b	P08b	P09b	W12b	W13c	W21b	W22b	W23b
P10b	P14b	P15b	P16c	P17c	W24b	W25b	W26b	W27b	W28c
P18b	P19c	P20b	P21b	P31b	W35b	W36b	W37b	W38b	W39b
P32c	P33b	P34c	P35c	P36b	W42c	W44b	W45b	W46b	W52b
P49b	P50b				W53b	W54b	W57b	W58b	W59b
【星間現象】(12)					【銀河形成】(8)				
Q09b	Q10b	Q11b	Q12b	Q13b	X12b	X13b	X14b	X20c	X23b
Q14b	Q29b	Q30b	Q31b	Q34b	X24b	X25b	X26b		
Q35b	Q36b				【天文教育・他】(20)				
【銀河】(18)					Y08b	Y09b	Y10b	Y11b	Y12b
R01b	R02b	R03b	R04c	R13c	Y13b	Y14b	Y15b	Y18b	Y19b
R14b	R15b	R16b	R17b	R18c	Y20b	Y21b	Y22c	Y23c	Y24b
R19b	R20b	R21c	R22b	R23b	Y25b	Y26b	Y27b	Y28b	Y29c
R24b	R25b	R26b			【ジュニアセッション】(40)				

J. 高密度星

3月28日(水) 午後・A会場			
14:48	J01a 中性子星からクォーク星への相転移における重力波放出および元素合成 安武伸俊 (九州大学)	10:48	J12b Physical Interpretation of the Extended Disk Blackbody Model for Ultraluminous X-Ray Sources Vierdayanti, Kiki (京都大学)
15:00	J02a 衝撃波面と反平行磁場の相互作用による非断熱的粒子加速 永田健太郎 (大阪大学)	10:48	J13b ブラックホール降着円盤から吹く高密度風の見え方 西山晋史 (大阪教育大学)
15:12	J03a 分子流体力学法による渦状衝撃波の3次元数値シミュレーション 村田浩也 (神戸大学)	10:48	J14b 光学的に厚い円盤風の見え方とスペクトル 住友那緒子 (大阪教育大学)
15:24	J04a Horizon-penetrating Transonic Flows and Disks around Black Holes 高橋芳太 (東京大学)	11:00	J15a On the Limit-Cycle Oscillation in Super-Eddington Accretion Flows 渡會兼也 (大阪教育大学)
15:36	J05a 相対論的輻射輸送から探る輻射圧ジェットの可能性 秋月千鶴 (大阪教育大学)	11:12	J16a 磁気流体降着円盤とジェットの輻射特性 加藤成晃 (筑波大学)
15:48	J06a 降着円盤からの相対論的輻射流体風 福江 純 (大阪教育大学)	11:24	J17a マイクロクェーサーの状態遷移とジェットの噴出 松元亮治 (千葉大学)
	J07c DSMC と MH による星風降着流の数値計算 大杉幸督 (神戸大学)	11:36	J18a ブラックホール磁気圏における磁気リコネクションと相対論的ジェット 小出真路 (熊本大学)
3月29日(木) 午前・A会場		11:48	J19a 中性子星磁気圏から噴出する相対論的磁気タワージェットの数値実験 浅野栄治 (千葉大学)
10:00	J08a MRI 粘性降着円盤の力学平衡および熱平衡状態 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)	12:00	J20a 膨張する磁気アーケードにおける粒子加速の相対論的 PIC シミュレーション 高橋博之 (千葉大学)
10:12	J09a 超臨界円盤降着はなぜ可能か? 嶺重 慎 (京都大学)	12:12	J21b 3D Relativistic MHD Simulations of Magnetized Spine-Sheath Relativistic Jets 水野陽介 (NSSTC/NASA-MSFC)
10:24	J10a 明るいハードステートに対応する光学的に薄い降着円盤モデル 小田 寛 (千葉大学)	12:12	J22b ブラックホール磁気圏における荷電粒子のカオス的挙動について 高橋真聡 (愛知教育大学)
10:36	J11a ブラックホール降着円盤における激しい時間変動の新しいモデル 住吉昌直 (京都大学)		

3月29日(木) 午後・A会場		3月30日(金) 午前・A会場	
14:00	J23a Collapsar から放出されるジェットにおける元素合成 藤本信一郎 (熊本電波高専)	10:00	J34a 才差するワープで共鳴励起される振動と Cir X-1 での低振動数 kHz QPOs 加藤正二 (奈良産業大学)
14:12	J24a ニュートリノ冷却優勢円盤上のコロナモデル 川畑亮二 (京都大学)	10:12	J35a HETE-2 衛星によるウルトラコンパクト X 線連星 4U0614+091 からの X 線バーストの観測 杉田聡司 (青山学院大学)
14:24	J25a コラプサーモデルにおける相対論ジェットの星間空間への伝搬 水田 晃 (千葉大学)	10:24	J36a HETE-2 衛星による軟ガンマ線リピータからの短いバーストの観測 中川友進 (青山学院大学)
	J26c 相対論的衝撃波加速に於ける非線型効果 青井順一 (京都大学)	10:36	J37a ミリ秒パルサー HETE J1900.1-2455 からの X 線バーストの解析 鈴木素子 (理化学研究所)
14:36	J27a 銀河団内における母銀河から離れた NS-NS merger の可能性 新納 悠 (京都大学)	10:48	J38a Ginga 衛星データアーカイブスを用いた Anomalous X-ray Pulsar の研究 鈴木健介 (東京大学)
14:48	J28a ガンマ線バースト円盤の磁気流体的性質と非定常質量降着 政田洋平 (京都大学)	11:00	J39a Suzaku observation of an anomalous X-ray pulsar CXO J164710.2-455216 Naik, Sachindra (Japan Aerospace Exploration Agency)
15:00	J29a ガンマ線バーストからの高エネルギー放射 村瀬孔大 (京都大学)	11:12	J40a 「すざく」による Anomalous X-ray Pulsar 1E 1841-045 の観測 森井幹雄 (立教大学)
15:12	J30a ガンマ線バーストにおける初期の X 線の Afterglow 中の Steep Decay 段階を用いたガンマ線バーストのジェットの構造の探査 高見健太郎 (広島大学)	11:24	J41b 2006 年 10 月に発見されたトランジェント電波源の発見と解析 田中 泰 (早稲田大学)
15:24	J31a 広島大学 1.5-m 望遠鏡「かなた」による GRB 061121 の観測 植村 誠 (広島大学)	11:24	J42b カニ星雲中心部周辺構造の近赤外スペクトルの時間変動 山本幹生 (宮崎大学)
15:36	J32a MITSuME 望遠鏡による GRB061121 の観測 石村拓人 (東京工業大学)	11:24	J43b SGR1806-20 巨大フレア Initial Spike における準周期振動の発見 田中康之 (東京大学)
15:48	J33a GRB のプロンプトから初期 X 線残光に続くスペクトル変化 米徳大輔 (金沢大学)	11:36	J44a XMM-Newton 衛星を用いた NGC1313 内の超光度 X 線源の系統的解析 宮本将雄 (東京理科大学 / 理研)

11:48	J45a 近傍渦巻銀河の ULX とブラックホール候補天体の状態変化 吉田鉄生 (東京理科大学)	3月30日(金) 午後・A会場 14:30 J57a 「すざく」による M 82 銀河 X-1 のスペクトル解析 宮脇良平 (東京大学) 14:42 J58a M82 X-1 は本当に中間質量ブラックホールか？ 小笠原直進 (日本大学) 14:54 J59a RXTE 衛星によるブラックホール候補星 Cygnus X-1 の low/hard 状態におけるエネルギースペクトル解析 宮川雄大 (青山学院大学) 15:06 J60a 2005 年 10 月 GRS 1915+105 多波長同時観測キャンペーン 上田佳宏 (京都大学) 15:18 J61a 「すざく」を中心とした 2006 年 4 月の SS433 多波長同時観測：2 久保田香織 (京都大学) 15:30 J62a 「すざく」を用いた白色矮星における非熱的放射の探査 寺田幸功 (理化学研究所) 15:42 J63a Chandra 衛星の高精度 X 線分光装置を用いた境界層プラズマの研究 (II) 岡田俊策 (宇宙航空研究開発機構) 15:54 J64a 白色矮星 DB ギャップの説明と新種の脈動白色矮星の予言 柴橋博資 (東京大学) 16:06 J65a 短周期 SU UMa 型矮新星における Osaki モデルの検証 今田 明 (京都大学) 16:18 J66a Nova-likes RW Tri、KR Aur の QPO、flickering の観測 杉保 圭 (京都大学) 16:30 J67a 短周期 SU UMa 型矮新星 V844 Her の superoutburst (2) 大泉尚太 (鹿児島大学)
12:00	J46b 「すざく」が発見した大光度 X 線源 <i>Suzaku</i> J1305-4931 の質量と回転 磯部直樹 (理化学研究所)	
12:00	J47b ブラックホール候補天体 GRO J1655-40 のアウトバースト時における状態変化 齋藤浩二 (青山学院大学)	
12:00	J48b ブラックホール天体における Eddington 限界光度の妥当性 佐藤俊宏 (日本大学)	
	J49c X 線天文衛星 すざく搭載 WAM(Wideband All-sky Monitor) による CygX-1 の地食モニター観測 深沢泰司 (広島大学)	
	J50c 「すざく」衛星による低質量 X 線連星系 GX 349+2 の観測 高橋弘充 (広島大学)	
12:12	J51b すざく衛星による 1E0102.2-7219 観測中に検出されたトランジェント天体 武井 大 (立教大学)	
12:12	J52b マイクロクエーサー Cyg X-1 および LS 5039 の可視偏光分光観測 永江 修 (広島大学)	
12:12	J53b 新しい WZ Sge 型矮新星 OT_J102146.4+234926 の可視-近赤外線同時観測 植村 誠 (広島大学)	
12:24	J54b SU UMa 型矮新星 FO And の可視・近赤外線観測 新井 彰 (広島大学)	
12:24	J55b Nova-likes RW Tri、KR Aur、AC Cnc における短時間変動の観測 杉保 圭 (京都大学)	
	J56c Nova V2574 Oph の 多色測光 および 分光観測 田島由起子 (ちはや星と自然のミュージアム)	

K. 超新星爆発

3月28日(水) 午前・C会場		3月28日(水) 午後・C会場	
10:00	K01a 白色矮星におけるデトネーションの安定性 小林幸司 (大阪大学)	14:00	K12a 超新星 2006jc: 2年前の小爆発と特異なスペクトルが示唆する親星の形態 山岡 均 (九州大学)
10:12	K02a 超新星残骸衝撃波における統計加速への電子注入問題の解明 天野孝伸 (東京大学)	14:12	K13b SDSS Supernova Survey 2006 時田幸一 (東京大学)
10:24	K03a 重力崩壊型超新星爆発における3次元MHD効果とエネルギー変換効率 三上隼人 (千葉大学)	14:12	K14b Ia型超新星 SN2006X のBVRI測光分光観測 山中雅之 (大阪教育大学)
10:36	K04a 磁気駆動超新星からのニュートリノ、重力波放射 滝脇知也 (東京大学)	14:12	K15b Ia型超新星の色分布と母銀河のダストの性質 高梨直紘 (東京大学)
10:48	K05a 非球対称超新星爆発におけるニュートリノ振動 川越至桜 (総合研究大学院大学)	14:24	K16a 低ルミノシティ GRB 060218 はコラプサーでできた中性子星が駆動するジェットだったのか? 当真賢二 (京都大学)
11:00	K06a 爆発のエネルギーを超新星残骸から見積もるときの星周物質の影響 菊地礼奈 (東京大学)	14:36	K17a 鉄コアの重力崩壊におけるニュートリノ中性子化バーストの解析 中里健一郎 (早稲田大学)
11:12	K07a 若いSNR Ia中のイオン化状態 尾崎 仁 (東京大学)	14:48	K18a ガンマ線バーストと金属欠乏星: GRB 060505、GRB 060614の起源 富永 望 (東京大学)
11:24	K08a Suzaku衛星によるSN1006南東部の観測 山口弘悦 (京都大学)	15:00	K19a 第一世代星コラプサーにおける元素合成 吉田 敬 (国立天文台)
11:36	K09a Point Sources in the Cygnus Loop Nemes, Norbert (大阪大学)	15:12	K20a 低質量超新星爆発における元素合成 和南城伸也 (東京大学)
11:48	K10a 「すざく」衛星観測によるSNR1987AのX線放射II 伊藤真之 (神戸大学)	15:24	K21a ニュートリノ駆動風中における衝撃波の元素合成への影響 黒田仰生 (東京大学)
12:00	K11a 超新星残骸 TychoにおけるFeIの吸収測定とIa型超新星伴星探査 井原 隆 (東京大学)	15:36	K22a 非等方ニュートリノ放射を伴う重力崩壊型超新星爆発の後期時間発展とrプロセスの環境 間所秀樹 (理化学研究所)
		15:48	K23b 大質量星の進化と爆発過程でのp過程元素合成 西村信哉 (九州大学)

L. 太陽系

3月28日(水) 午前・B会場		3月28日(水) 午後・B会場	
10:00	L01b 黄道座標と赤道座標—天体暦のダブルスタンダード— 田中洸人 (—)		L13c 短周期彗星の質量放出率と惑星間ダストの起源 上野宗孝 (東京大学)
10:00	L02b 意外に知られざる天体の運動のしくみ—ほとんど知られていないがきわめて大事なこと・・・中心天体に近いときほど速く公転運動する理由およびその効果— 田中洸人 (—)	11:48	L14b 小惑星 (22) Kalliope とその衛星 Linus による掩蔽観測 早水 勉 (せんだい宇宙館)
10:00	L03b 名声を勝ちとったケプラー、名声を逃したガリレイ—ガリレイはなぜ名声を逃したか— 田中洸人 (—)	11:48	L15c 小惑星 773 Irmintraud の形状推定 森 真知子 (日本女子大学)
10:12	L04a チチウスボーデの法則の右辺の 0.4, 0.3 及び 2^n の値の意味 (2) 新村公剛 (新村公剛公認会計士事務所)		L16b おうし座流星群の火球における永続流星痕 比嘉義裕 (日本流星研究会)
10:24	L05a 3次元摂動2体問題の正則化手法の数値比較 福島登志夫 (国立天文台)		L17c 惑星変形による慣性交換の可能性：火星における真の極移動への示唆 原田雄司 (東京大学)
10:36	L06a 多様体補正法による人工衛星の高精度、高速数値積分 梅谷真史 (総合研究大学院大学)	12:00	L18b ハイドロダイナミックエスケープによる惑星大気の散逸 佐々木貴教 (東京大学)
10:48	L07a 力の高階微分を用いた6次および8次精度の Hermite 積分法 似鳥啓吾 (東京大学)		
11:00	L08a 巨大天体衝突ステージにおける原始惑星の合体条件 玄田英典 (東京工業大学)		
11:12	L09a ASCA による月の X 線観測 中村一尋 (日本大学)		
11:24	L10a WIZARD による黄道光の観測 上野宗孝 (東京大学)		
11:36	L11a 4P/Faye 彗星ダストトレイルの検出 猿楽祐樹 (東京大学)		
11:48	L12b 22P/Kopff 彗星ネックライン構造への非重力効果の適用 三浦直也 (東京大学)		
		14:00	L19a 14年ぶりに起こる土星の衛星 Iapetus の食 相馬 充 (国立天文台)
		14:12	L20a 73P/Schwassmann-Wachmann 3 彗星の近赤外高分散分光観測 河北秀世 (京都産業大学)
		14:24	L21a Maidanak 天文台における若い小惑星族の多色測光観測 Marshalkina, A. L. (Ulugh Beg Astronomical Institute)
		14:36	L22a 「はやぶさ」の次の小天体探査計画について2 吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)
		14:48	L23a 太陽コロナと太陽風の3次元電磁流体モデリングと特性曲線法を用いた境界条件 松本琢磨 (京都大学)

M. 太陽

3月28日(水) 午後・B会場			
15:00	M01a 「ひので」可視光望遠鏡の現状と今後 常田佐久 (国立天文台)	10:36	M11a 「ひので」可視光磁場観測で捉えられた頻発する局所的磁気超音速流 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)
15:12	M02a 「ひので」極端紫外線撮像分光装置 (EIS) の初期成果 原 弘久 (国立天文台)	10:48	M12a ひので可視光望遠鏡が発見した半暗部上空で頻発する彩層ジェット 勝川行雄 (国立天文台)
15:24	M03b 「ひので」X線望遠鏡で見る太陽コロナ 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)	11:00	M13b ひので可視光望遠鏡がとらえた Light Bridge 形成過程 勝川行雄 (国立天文台)
15:24	M04b ひので QL ムービー作成システムの構築 殿岡英顕 (国立天文台)	11:00	M14b ひので SOT により観測された 2006 年 12 月 11 日の浮上磁場領域 勝川行雄 (国立天文台)
15:24	M05b Derivation of dBz/dz from Stokes Profiles and its Application to Azimuth Ambiguity Resolution 神尾 精 (国立天文台)	11:00	M15b ひので可視光磁場望遠鏡で捉えた活動領域 NOAA10930 のベクトル磁場の時間発展 久保雅仁 (宇宙航空研究開発機構)
15:36	M06a 「ひので」衛星 可視光磁場望遠鏡 スペクトロパリメータ データの Milne-Eddington フィッティングの初期結果 横山央明 (東京大学)	11:12	M16b 「ひので」による未踏の太陽極域・静穏太陽の磁場観測 常田佐久 (国立天文台)
15:48	M07a 「ひので」可視光磁場観測に基づく太陽コロナ磁場の3次元平衡場解析 草野完也 (JAMSTEC)		M17c HINODE SOT OBSERVATIONS OF FLARE RIBBONS Berger, Tom (LMSAL)
			M18c FREQUENCY DOMAIN FILTERING OF HINODE SOT MOVIES OF THE CHROMOSPHERE IN CA II De Pontieu, Bart (LMSAL)
			M19c HINODE SOT MEASUREMENTS OF THE WEAK INTERNETWORK MAGNETIC FLUX Lites, Bluce (HAO/NCAR)
			M20c MAGNETIC FIELDS IN INTERGRANULAR LANES OBSERVED WITH HINODE SOT Title, Alan (LMSAL)
		11:12	M21b 「ひので」X線望遠鏡 (XRT) による衝撃波 (X-ray wave) の観測 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)
3月29日(木) 午前・B会場			
10:00	M08a 「ひので」可視光望遠鏡によるエバーシッド流の微細構造 一本 潔 (国立天文台)		
10:12	M09a ひので可視光磁場望遠鏡が捉えた Moving Magnetic Features の形成と黒点半暗部磁場との関係 久保雅仁 (宇宙航空研究開発機構)		
10:24	M10a ひので /SOT で観測された半暗部周辺の Ca II/G-band 輝点の運動 下条圭美 (国立天文台)		

		3月29日(木) 午後・B会場
11:12	M22b ひので / X線望遠鏡 (XRT) による極域太陽X線ジェットの観測 下条圭美 (国立天文台)	14:00 M31a 「ひので」 高空間分解偏光分光観測から探る半暗部微細磁場構造 島田浩平 (東京大学)
11:24	M23b A Multi-wavelength View of an Active Region Structure around a Filament Channel Lundquist, Loraine (ハーバード・スミソニアン天文台)	14:12 M32a 偏光分光器による斜めから見た磁束管の解析 森永修司 (東京大学)
11:24	M24b The structure and evolution of magnetic fields surrounding a filament on the Sun 真柄哲也 (京都大学)	14:24 M33a The plasma properties of the penumbral fine structure Jurcak, Jan (国立天文台)
11:24	M25b Analysis of the distribution of heating events in intensity histograms as a possible indicator of the heating distribution in coronal loops simulating observations with Hinode/XRT Antolin, Patrick (京都大学)	14:36 M34a 微細磁束管のダイナミクスと convective collapse 永田伸一 (京都大学)
11:36	M26b 硬X線 two-ribbon フレアにおける硬X線強度と磁場強度の関係 増田 智 (名古屋大学)	14:48 M35a ひのでによる光球微細磁場構造の撮像・分光観測 石川遼子 (東京大学)
11:36	M27b Flux cancellation rates and converging speeds of magnetic network in the quiet region 山内洋平 (京都大学)	15:00 M36a 「ひので」 可視光・磁場望遠鏡 Ca II H線によるスピキュールの高分解能観測 末松芳法 (国立天文台)
11:36	M28b 太陽コロナにおけるエネルギー蓄積と CME 発生に関する電磁流体シミュレーション 塩田大幸 (京都大学 / 海洋研究開発機構)	15:12 M37a ひので / 可視光望遠鏡 (SOT) が捉えた Ca プロミネンスとその振動現象 岡本丈典 (京都大学 / 国立天文台)
11:48	M29b エラーマンボムと "resistive emergence" の MHD シミュレーション 磯部洋明 (東京大学)	15:24 M38a He λ 10830 Å線におけるプロミネンス吸収線比の測定 鈴木大輔 (川口市立科学館)
	M30c 宇宙天気予報のための STEREO 探査機リアルタイムデータ受信 秋岡真樹 (情報通信研究機構)	15:36 M39a Arch Filament System の上昇速度の時間的发展 大辻賢一 (京都大学)
		15:48 M40a 三鷹・川口のマグネトグラム徹底比較 萩野正興 (京都大学)

3月30日(金) 午前・B会場			
10:00	M41a 「ひので」 X線望遠鏡による太陽フレアの観測 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)		M53c 太陽フレアにおける非熱的電子の Fokker-Planck モデリング 箕島 敬 (東京大学)
10:12	M42a 「ひので」 X線望遠鏡で観測されたマイクロフレア 鹿野良平 (国立天文台)	3月30日(金) 午後・B会場	
10:24	M43a 「ひので」 X線望遠鏡 (XRT) によるコロナ温度診断 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)	14:30	M54a 太陽フレアに伴う粒子加速研究の新しいアプローチ 岡 光夫 (京都大学)
10:36	M44a ひので /X線望遠鏡 (XRT) による X線 bright point の観測 古徳純一 (国立天文台)	14:42	M55a 「すざく」 搭載 広帯域全天モニター (WAM) による太陽フレアの観測 鈴木正信 (埼玉大学)
10:48	M45a 「ひので」 極端紫外線分光撮像装置 (EIS) が観測したコロナ・遷移層の現象の分類 松崎恵一 (宇宙航空研究開発機構)	14:54	M56a 羊八井中性子モニタによる太陽フレアからの太陽中性子の探索 土屋晴文 (理化学研究所)
11:00	M46a EUV Fine Features in Polar Region 神尾 精 (国立天文台)	15:06	M57a ポストフレアループの磁場 柴崎清登 (国立天文台)
11:12	M47a 「ひので」 EIS によって観測された、フレアに付随する強いブルーシフト現象について 浅井 歩 (国立天文台)	15:18	M58a コロナホールに浮上した活発な活動領域の、光球面磁場、コロナ構造、磁極反転線の発展と、そこで発生した全てのフレアとの関係 森田 諭 (宇宙航空研究開発機構)
11:24	M48a 「ひので」 極端紫外線分光撮像装置 (EIS) が観測した輝線ごとに速度が異なるブルーシフト 今田晋亮 (国立天文台)	15:30	M59a 活動領域 NOAA10808 におけるフィラメント噴出のトリガー機構 長島 薫 (京都大学)
11:36	M49a 「ひので」 EIS によるコロナプラズマの温度・密度診断性能 渡邊鉄哉 (国立天文台)	15:42	M60a 磁気対流とコロナ加熱の3次元 MHD シミュレーション 磯部洋明 (東京大学)
11:48	M50a 太陽フレア C IV カーネルの時間的・エネルギー的フラクタル性 西塚直人 (京都大学)	15:54	M61a 活動領域コロナの X線・EUV 光度揺らぎとナノフレア 阪本康史 (東京大学)
12:00	M51a 活動領域 NOAA9026 のフレア発生前増光現象と磁気構造進化 森本智彦 (茨城大学)	16:06	M62a 過去の太陽放射スペクトルを再構成する試み (1): 黒点・白斑・静穏領域の放射スペクトルの推定 横山正樹 (名古屋大学)
12:12	M52a 太陽フレアにおける非熱的スペクトルの時間的・空間的特徴 箕島 敬 (東京大学)	16:18	M63a Boltzmann 方程式自身に問題がある! - 太陽風への応用 平山 淳 (国立天文台)

N. 恒星

3月30日(金) 午前・D会場	
10:00	N01a 恒星振動の双極子モードの完全な分類方法 高田将郎 (東京大学)
10:12	N02a 銀河形成前の銀河間軽元素合成 日下部元彦 (東京大学)
10:24	N03a 重い金属欠乏星の爆発にともなう軽元素合成 中村 航 (東京大学)
10:36	N04a 極超新星の元素合成と銀河系および宇宙の化学進化 小林千晶 (国立天文台)
10:48	N05a アルファ元素過剰な超金属欠乏星の組成パターンとその起源 青木和光 (国立天文台)
11:00	N06a 惑星を持つ星のアルファ元素と鉄族元素の振る舞い (II) : Si, Ca, Ti, Ni, Cu の解析 比田井昌英 (東海大学)
11:12	N07a 惑星を持つ星のアルファ元素と鉄族元素の振る舞い (III) : Mg, S, Cu の異なる吸収線による組成の比較 小杉泰生 (東海大学)
11:24	N08a ヒアデス星団の金属量について 竹田洋一 (国立天文台)
11:36	N09b G型巨星の組成解析 村多大輔 (神戸大学)
11:36	N10b Detection of tiny oscillations in G type giant HD76294 安藤裕康 (国立天文台)
	N11c 近接連星 ET Leo、DZ Psc 及び V753 Mon の測光観測 (II) 松本雄輝 (防衛大学校)
	N12c 接触連星系 V781 Tau の測光解析 中村泰久 (福島大学)
11:36	N13b 短周期振動星を含むアルゴル系 AS Eri の組成解析 鳴沢真也 (兵庫県立西はりま天文台)
11:48	N14b 食連星 BZ Eri の光度曲線変動 岡崎 彰 (群馬大学)
11:48	N15b HIDES による Be/X-ray 線連星 A0535+262 の可視光連続分光観測 森谷友由希 (京都大学)
	N16c Echelle Spectroscopy of X-ray Spectroscopic Binaries in HII Regions using OAO/HIDES 辻本匡弘 (立教大学)
11:48	N17b すざく衛星による強い鉄輝線を持つ天体 CXOGC J174645.3-281546 の観測 兵藤義明 (京都大学)
12:00	N18b 系内 Wolf-Rayet 星の X 線帯域における統計的調査 菅原泰晴 (中央大学)
12:00	N19b 歴史的記録による前期惑星状星雲の検出 平井正則 (福岡教育大学)
12:00	N20b IRSF 近赤外カタログを用いたマゼラン雲の TRGB とレッドクランプ等級の算出 Koerwer, Joel F. (名古屋大学)
12:12	N21b RV Tau 型星 R Scuti のダストモデルと光赤外干渉計観測 西村健志 (日本大学 / 国立天文台)
12:12	N22b VY CMa 星周輝線の時間変動と起源 松田健太郎 (西はりま天文台)
12:12	N23b Spitzer/GLIMPSE サーベイによる非常に赤いレーザー源対応天体の検出 出口修至 (国立天文台)

12:24	N24b 大学 VLBI 連携による NML Cygni の水レーザー観測 永山 匠 (鹿児島大学)		N35c Var Cas 06(多胡天体)のデジタルカメラ画像からの測光 清田誠一郎 (VSOLJ)
12:24	N25b VERA によるミラ型変光星 R Aqr 星周の一酸化ケイ素レーザーの観測 (その2) 蒲原龍一 (国立天文台)	16:18	N36a 多胡事象 (VarCas 06) の重力マイクロレンズモデルによるライトカーブフィッティング 福井暁彦 (名古屋大学)
3月30日(金)午後・D会場		16:30	N37a 多胡マイクロレンズ事象の起源としての星流の同定 出口修至 (国立天文台)
14:30	N26a 57 Peg の歴史的増光と可視光スペクトル観測 藤原智子 (九州大学)		N38c MOA プロジェクトの銀河中心領域における変光星データベース構築 中村俊作 (名古屋大学)
14:42	N27a VERA による超巨星 VY CMa の H ₂ O/SiO レーザー観測 Choi, Yoonkyung (東京大学)		
14:54	N28a 2.3 μm CO 観測から見えてきた ρ Cas の質量放出現象 山室智康 (オプトクラフト)		
15:06	N29a 2MASS 公開画像から得た変光天体の分布にみられる銀河系バルジの構造 高妻真次郎 (九州大学)		
15:18	N30a 「あかり」による球状星団 47Tuc(NGC104) と NGC362 の近～中間赤外線観測 板 由房 (宇宙航空研究開発機構)		
15:30	N31a 大質量星 eta Carinae の X 線スペクトル解析 関口晶子 (立教大学)		
15:42	N32a 多胡事象 (Var Cas 06)= 近傍星のマイクロレンズ現象 大西浩次 (長野高専)		
15:54	N33a マイクロレンズによる増光現象 VarCas06 の分光観測 野上大作 (京都大学)		
16:06	N34a カシオペア座新変光星 VarCas06 の CCD 連続測光観測 田辺健茲 (岡山理科大学)		

P. 星・惑星形成

3月29日(木) 午前・C会場			
10:00	P01a	MOA-IIによる重力マイクロレンズを用いた浮遊惑星探索 神谷浩紀(名古屋大学)	11:24 P12a 格子法によるジャイアントインパクトシミュレーション 森蘭宏太(東京大学)
10:12	P02a	G型巨星における惑星系の日韓共同探査 .III 大宮正士(東海大学)	11:36 P13a 最小質量円盤モデル再訪 - 巨大衝突による地球型惑星形成モデルから 小久保英一郎(国立天文台)
10:24	P03a	MOA-IIによる太陽系外惑星探査: 2006年の結果 住 貴宏(名古屋大学)	11:48 P14b 中心部からの噴出流を伴ったガス雲の収縮: シェル構造の形成と分裂 釣部 通(大阪大学)
10:36	P04a	トランジット惑星系 TrES-1 における初めての Rossiter 効果の観測結果 成田憲保(東京大学)	11:48 P15b Chandra 衛星を用いた Class 0 天体の探索 鈴木悠一郎(中央大学)
10:48	P05b	line driven による惑星大気流出の可能性 福江 翼(京都大学)	P16c すばる望遠鏡による Young Stellar Object, RNO91 の多波長観測 眞山 聡(総合研究大学院大学 / 国立天文台)
10:48	P06b	木星および土星のコア質量の状態方程式モデル依存性について 堀 安範(大阪大学)	P17c ベガ前段階にある A 型星からの X 線放射 濱口健二(NASA/GSFC)
10:48	P07b	X 線フレアに伴う磁気バブルが形成する衝撃波とコンドリュール形成条件に関する電磁流体シミュレーション研究 林 満(国立天文台)	11:48 P18b 固有運動による Post T Tauri 型星の探査 II 金井 徹(神戸大学)
11:00	P08b	高速ガス流によるダストの加熱溶融と変形: 三次元熱流体計算コード開発 保田誠司(筑波大学)	P19c おうし座分子雲に付随する超低質量星の遠赤外線測光観測 深川美里(名古屋大学)
11:00	P09b	衝撃波加熱コンドリュール形成モデル: コンドリュール形状の多様性 三浦 均(京都大学)	12:00 P20b Japanese VLBI Network (JVN) を用いた 6.7 GHz メタノールメーザの観測 杉山孝一郎(山口大学)
11:00	P10b	原始惑星系円盤におけるスノーラインの進化 岡 明憲(東京工業大学)	12:00 P21b VERA による Orion-KL 領域の SiO メーザの位相補償 VLBI 観測 Kim, Mikyoung(東京大学)
11:12	P11a	連星系における惑星形成 塚本裕介(東京大学)	

3月29日(木) 午後・C会場			
14:00	P22a 原始惑星落下問題における円盤内ポロイダル磁場の効果について 武藤恭之 (京都大学)		P34c 大質量星形成領域 BRC68 の近赤外撮像観測 II 堀 美沙 (神戸大学)
14:12	P23a 原始惑星系円盤中でのガス惑星の角運動量獲得過程 町田正博 (京都大学)		P35c W4 に付随する Bright Rimmed Cloud の中質量天体の同定 川原健太郎 (岡山理科大学)
14:24	P24a 重力不安定性による微惑星形成過程の N 体シミュレーション 道越秀吾 (京都大学)	15:48	P36b ブライトリム分子雲における小規模連鎖的星形成 小倉勝男 (国学院大学)
14:36	P25a 惑星形成終盤における円盤ガスの温度構造 坂本晶子 (東京大学)	3月30日(金) 午前・C会場	
14:48	P26a 光泳動と乱流によるダストの回転 竹内 拓 (神戸大学)	10:00	P37a すばる COMICS による HAEBE 型星周円盤 10 μ m 帯放射の空間分解 2 岡本美子 (茨城大学)
15:00	P27a 氷ダスト昇華に伴うダスト-デブリ円盤の内側の穴形成 小林 浩 (名古屋大学)	10:12	P38a ASTE10m/NRO45m 鏡による Herbig Ae 型星 HD163296 の星周円盤 CO(J=3-2/1-0) 観測 林 洋行 (茨城大学)
15:12	P28a 合体成長時におけるダストの構造進化 陶山 徹 (北海道大学)	10:24	P39a すばる望遠鏡による CoKu Tau4 近赤外線コロナグラフ観測 工藤智幸 (総合研究大学院大学)
15:24	P29a エンスタタイト結晶の低温での赤外線分光測定 直井隆浩 (宇宙航空研究開発機構)	10:36	P40a L1527 原始星における炭素鎖分子 H ₂ CCCC 高励起輝線の検出 坂井南美 (東京大学)
15:36	P30a 鉄、ニッケルおよび硫黄蒸気から生成薄膜の構造 山下鉄平 (立命館大学)	10:48	P41a おおかみ座 class 0 天体のサブミリ波観測 立原研悟 (神戸大学)
15:48	P31b ASTE による南天大質量星形成領域の大型有機分子探査 I 亀谷和久 (東京大学)	11:00	P42a T Tauri 型星 RY Tauri が示す禁制線の直線偏光測定と発光領域の推定 秋田谷 洋 (国立天文台)
	P32c オリオン A 分子雲コアの野辺山 CS(1-0) サーベイの再検証 佐藤友美 (放送大学 / 国立天文台)	11:12	P43a SUBARU HIGH-DISPERSION SPECTROSCOPY OF H α AND [NII] 6583 Å EMISSION IN THE HL TAU JET 西川貴行 (総合研究大学院大学)
15:48	P33b SIRPOL による 30Dor の赤外線偏光観測 - 巨大星団と磁場構造 - 中島 康 (国立天文台)		

11:24	P44a 回転 First Core 円盤からの輻射予測 西合一矢 (国立天文台)	15:18	P55a NANTEN2 望遠鏡による Sgr B2 領域のサブミリ波観測 山本宏昭 (名古屋大学)
11:36	P45a 連星円盤からのガス降着の多層格子シミュレーション 花輪知幸 (千葉大学)	15:30	P56a ASTE による中質量クラスター形成領域 OMC-2/FIR4 領域のサブミリ波 CH ₃ OH 輝線観測 島尻芳人 (東京大学)
11:48	P46a 大質量星への質量降着条件: 輻射圧障壁の再考 中本泰史 (東京工業大学)	15:42	P57a Near-Infrared Imaging Polarimetry of the NGC 2071 Star Forming Region with SIRPOL 田村元秀 (国立天文台)
12:00	P47a 大降着率による大質量原始星の進化 細川隆史 (国立天文台)	15:54	P58a 星形成領域 GGD12-15 の近赤外線観測 佐藤八重子 (総合研究大学院大学)
12:12	P48a 時間進化する衝撃波圧縮領域の安定性解析 岩崎一成 (大阪大学)	16:06	P59a NGC2264 における近赤外広域偏光観測 日下部展彦 (総合研究大学院大学)
12:24	P49b IC1396 に存在するコメタリーグロビュール (BRC37) の可視・近赤外観測 池田尚史 (名古屋市立大学)	16:18	P60a 銀河系最外縁における星生成領域の近赤外高感度サーベイ 安井千香子 (東京大学)
12:24	P50b Herbig Ae/Be 型星星周円盤の 20 μ m 帯撮像観測 III 本田充彦 (神奈川大学)	16:30	P61a 小質量星形成領域 B59 の多波長観測 宮本洋輔 (名古屋大学)
3月30日 (金) 午後・C会場			
14:30	P51a 野辺山 45m 電波望遠鏡を用いたクラスター形成領域に付随する大質量高密度クランプの観測 I 樋口あや (東京工業大学)	16:42	P62a Chandra, XMM-Newton 衛星による超新星残骸 CTB 37A の観測 中嶋 大 (京都大学)
14:42	P52a NANTEN2 による大質量星形成クランプ IRAS 10365 のサブミリ波観測 米倉覚則 (大阪府立大学)	16:54	P63a 星なしコア FeSt 1-457 の近赤外偏光観測: 磁場構造の測定 神鳥 亮 (国立天文台)
14:54	P53a ASTE・VERA による 321GHz・22GHz 水メーザーサーベイ観測 廣田朋也 (国立天文台)		
15:06	P54a VERA による NGC7538 領域と CepA 領域の同時水メーザー観測 亀谷 収 (国立天文台)		

Q. 星間現象

3月28日(水) 午前・D会場		3月28日(水) 午後・D会場	
10:00	Q01a 大マゼラン雲中の巨大分子雲に対するミリ波・サブミリ波観測 南谷哲宏 (名古屋大学)	11:48	Q13b 「すざく」による HESS 未同定天体 HESS J1745-303 の観測 馬場 彩 (理化学研究所)
10:12	Q02a NANTEN2: N159 大規模星団形成領域に対するサブミリ波帯観測結果 水野陽治 (名古屋大学)	11:48	Q14b Sgr B2 領域の鉄輝線時間変動と銀河中心ブラックホールの活動性 乾 達也 (京都大学)
10:24	Q03a 小マゼラン雲における分子雲探索および星形成 河村晶子 (名古屋大学)	3月28日(水) 午後・D会場	
10:36	Q04a ASTE10m 望遠鏡による銀河系中心部の分子雲ループの観測 工藤奈都子 (名古屋大学)	14:00	Q15a 銀河系中心核 Sgr A* を取り囲む「大きな」中心核円盤の発見 岡 朋治 (東京大学)
10:48	Q05a NANTEN2 を用いた銀河系中心方向における磁気浮上ループの観測 鳥居和史 (名古屋大学)	14:12	Q16a 銀河系中心電波アークの円偏波観測 坪井昌人 (国立天文台)
11:00	Q06a 銀河系中心部「膨張リング」に対する磁気ループモデルの適用 川瀬徳一 (名古屋大学)	14:24	Q17a すざく搭載硬 X 線検出器 (HXD) による銀河中心領域の観測 (1) 国分紀秀 (東京大学)
11:12	Q07a 銀河系中心部の正速度ループー分子雲と中性水素ガスの比較ー 藤下基線 (名古屋大学)	14:36	Q18a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD) による銀河中心領域の観測 (2) 田村健一 (宇宙航空研究開発機構)
11:24	Q08a 加熱冷却過程を考慮したパーカー不安定性による分子雲形成 鈴木重太郎 (千葉大学)	14:48	Q19a 銀河中心における 6.4 keV 放射と硬 X 線の検出 瀧川庸二郎 (京都大学)
11:36	Q09b 銀河系中心分子雲ループ形成の局所三次元 MHD シミュレーション 野澤 恵 (茨城大学)	15:00	Q20a 「すざく」による Sgr B1 XRN と SNR G0.4+0.0 の発見 信川正順 (京都大学)
11:36	Q10b Serpens 領域の ^{12}CO , ^{13}CO J=2-1 同時観測と CO(2-1)/CO(1-0) 比診断 中島 拓 (大阪府立大学)	15:12	Q21a IIb 型超新星爆発時におけるダストの形成と破壊 野沢貴也 (北海道大学)
11:36	Q11b XMM-Newton 衛星による Puppis A 超新星残骸の観測 勝田 哲 (大阪大学)	15:24	Q22a すざく衛星による超新星残骸 RX J1713.7-3946 のマッピング観測 田中孝明 (宇宙航空研究開発機構)
11:48	Q12b すざく衛星による銀河面 X 線放射の観測 山内茂雄 (岩手大学)	15:36	Q23a 古い超新星残骸からの TeV ガンマ線放射と TeV ガンマ線未同定天体 山崎 了 (広島大学)
		15:48	Q24a Suzaku 衛星による白鳥座ループ北東端から南西端の観測 勝田 哲 (大阪大学)

3月29日(木) 午前・D会場		3月29日(木) 午後・D会場	
10:00	Q25a Orion KL でのねじれ振動励起状態のギ酸メチルの初めての同定 小林かおり (富山大学)	11:24	Q36b 第一世代星間雲からの Ly- α 輝線の形状と時間発展 富田賢吾 (京都大学)
10:12	Q26a Herbig Ae/Be 星周囲での芳香族炭化水素 (PAH) の変質と未同定赤外 (UIR) バンドの物理環境診断への応用 左近 樹 (東京大学)	11:36	Q37a SDSS J1257+3419 が最小の dwarf spheroidal である可能性について 釜谷秀幸 (京都大学)
10:24	Q27a アントラセンを用いた PAH 粒子の生成実験と紫外線の照射効果 齊藤 碧 (立命館大学)	11:48	Q38a How was GW 123.4-1.5 formed in the Galactic disk? Baek, Chang Hyun (国立天文台)
10:36	Q28a ^{13}CCS および C^{13}CS における $^{12}\text{C}/^{13}\text{C}$ 比の異常と CCS の生成過程 (1) 池田正史 (東京大学)	3月29日(木) 午後・D会場	
10:48	Q29b ^{13}CCS および C^{13}CS における $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比の異常と CCS の生成過程 (2) 坂井南美 (東京大学)	14:00	Q39a 「すざく」による銀河バルジ方向の星間空間中高温プラズマの研究 II 吉野友崇 (宇宙航空研究開発機構)
10:48	Q30b DSS を用いた惑星状星雲の AGB ハローの検出 山口卓也 (和歌山大学)	14:12	Q40a 「すざく」による軟 X 線バックグラウンドの時間変動について 土屋彰広 (宇宙航空研究開発機構)
10:48	Q31b VSOP-2 計画のための 22GHz 水メーザーの候補天体の検証 楠野こず枝 (明星大学)	14:24	Q41a 「なんてん」銀河面サーベイデータを用いた高密度天体の探査 石神真慈 (名古屋大学)
11:00	Q32a 無衝突垂直衝撃波における波乗り加速 大平 豊 (大阪大学)	14:36	Q42a 分子雲をプローブとする相対論的ジェット候補の発見 III : MJG23.8 伊藤晋吾 (名古屋大学)
11:12	Q33a 熱的不安定による磁気雲形成と星間乱流 : 弱電離プラズマの 2 次元 2 流体 MHD シミュレーションによる解析 井上剛志 (京都大学)	14:48	Q43a NANTEN2 : サブミリ波観測の初期成果 水野範和 (名古屋大学)
11:24	Q34b 電子・陽電子プラズマ中の相対論的無衝突衝撃波の 2 次元シミュレーション 加藤恒彦 (国立天文台)	15:00	Q44a 「あかり」によるこぎつね座の散光星雲 IC4954 の遠中間赤外線観測 石原大助 (東京大学)
11:24	Q35b 速い磁気流体乱流の基本的性質 鈴木 建 (東京大学)	15:12	Q45a 「あかり」全天サーベイ観測 : LMC 30Dor 領域の初期観測結果 土井靖生 (東京大学)
		15:24	Q46a ガンマ線バーストで殺菌されない星間パンスペルミア物体の半径 横尾広光 (杏林大学)

R. 銀河

3月30日(金) 午前・E会場		
10:00	R01b ミリ波における Sagittarius A* の短時間フラックス変動 宮崎敦史 (国立天文台)	11:48 R15b M 83 における double nucleus が銀河に及ぼす影響 松井秀徳 (北海道大学)
10:00	R02b 銀河系中心部領域における Cepheid 型変光星の発見 河津飛宏 (京都大学)	11:48 R16b 近傍銀河 IC342 における GMC 観測 廣田晶彦 (東京大学 / 国立天文台)
10:00	R03b Inner Bar による銀河系中心領域へのガス供給の可能性 行方大輔 (北海道大学)	12:00 R17b ASTE による NGC 253 の CO(J=3-2) 輝線広域マッピング観測 中西康一郎 (国立天文台)
	R04c 銀河系バルジに属する低質量 X 線連星系の空間分布と光度関数 森 英之 (京都大学)	R18c ASTE による楕円銀河の ¹² CO(J=3-2) 輝線探査 中西裕之 (国立天文台)
10:12	R05a レッドクランプ星を用いた銀河系中心までの距離の測定 西山正吾 (国立天文台)	12:00 R19b 原始活動銀河核での銀河とブラックホール共進化を探る: 狭輝線 1 型セーフアート銀河に付随する分子ガスの観測 川口俊宏 (青山学院大学)
10:24	R06a 銀河中心部における星団の進化 藤井通子 (東京大学)	12:00 R20b 980425, GRB 000418 ガンマ線バースト母銀河の星形成に対する CO 輝線観測からの制限; GRB 980425, GRB 000418, GRB 030329 廿日出文洋 (東京大学)
10:36	R07a VERA を用いた kpc スケールの距離に位置する星形成領域の位置天文観測 II 本間希樹 (国立天文台)	R21c Peculiar Velocities of the Galaxies beyond the Local Void. III. 岩田 生 (国立天文台)
10:48	R08a VERA を用いた NGC 281 領域の水メーザー絶対固有運動計測 佐藤真弓 (東京大学)	12:12 R22b 「あかり」による近傍 face-on 渦巻銀河 M101 の遠赤外線撮像観測 鈴木仁研 (東京大学)
11:00	R09a 銀河ダイナモの 3 次元磁気流体シミュレーション 田中 実 (千葉大学)	12:12 R23b 「あかり」衛星搭載近中間赤外カメラ IRC による近傍銀河 NGC6946 のスリット分光観測と分光性能評価 左近 樹 (東京大学)
11:12	R10a 銀河円盤星間ガスの骨格構造と星形成率 和田桂一 (国立天文台)	12:12 R24b 北黄極領域における遠方銀河の近赤外スペクトルの性質 石垣美歩 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:24	R11a 恒星の軌道運動の観測による球状星団中心のブラックホールの検出 牧野淳一郎 (国立天文台)	12:24 R25b 銀河のダスト量進化と遠赤外データによる検証 長岡美甫 (筑波大学)
11:36	R12a GRAPE-DR 制御プロセッサの開発 藤野 健 (東京大学)	
	R13c 力学進化から探る球状星団の初期状態 高橋広治 (埼玉工業大学)	
11:48	R14b 厚い円盤と暗黒物質ハローの合体形成史の関係 林 寛人 (東北大学)	12:24 R26b 「すざく」による NGC4388 周りの 30kpc に及ぶ広がった X 線の観測 小澤 碧 (京都大学)

S. 活動銀河核

3月30日(金) 午後・E会場	3月28日(水) 午前・F会場
14:30 R27a 銀河形成過程の超金属欠乏星への影響 小宮 悠 (北海道大学)	10:00 S01a すざく衛星による NLS1 銀河 1H0707-495 の観測 (2) 林田 清 (大阪大学)
14:42 R28a 銀河系ハローの化学進化が示す第一 世代星の元素合成 石丸友里 (工学院大学)	10:12 S02a 「すざく」衛星による NLS1 銀河 PG1211+143 の観測 内野雅広 (大阪大学)
14:54 R29a Suprime-Cam で探るアンドロメダ ストリームの起源 田中幹人 (国立天文台)	10:24 S03a すざく衛星によるセイファート銀河 の時間変動解析 中村智一 (名古屋大学)
15:06 R30a M33 巨大 HII 領域 NGC 604 にお ける星形成史 I. 初期星形成によって 誘発された第2世代星形成 - 高温高 密度ガスの arc 構造 濤崎智佳 (国立天文台)	10:36 S04a 「すざく」衛星/MAGIC/HESS によ る北天ブレイザーの多波長同時観測 牛尾雅佳 (宇宙航空研究開発機構)
15:18 R31a M33 巨大 HII 領域 NGC 604 にお ける星形成史 II. 初期星形成によって誘発さ れた第3世代星形成 - 高密度ガス形成 三浦理絵 (東京大学/国立天文台)	10:48 S05a ブレイザー天体 Mrk421 の「すざく」 による広帯域スペクトル変動の観測 矢治裕一 (埼玉大学)
15:30 R32a 棒渦巻銀河 Maffei 2 のバーにお ける高密度分子ガスと星形成 俣徠和夫 (北海道大学)	11:00 S06a EGRET ブレイザー PKS1510-089 の Suzaku 衛星による観測; ジェッ ト組成への制限 津布久佳宏 (東京工業大学)
15:42 R33a 「あかり」による近傍銀河の遠赤 外線撮像観測: 初期成果と今後の計画 金田英宏 (宇宙航空研究開発機構)	11:12 S07a Swift/BAT 硬 X 線サーベイで見つ かった新 AGN の「すざく」による 観測 (I) 江口智士 (京都大学)
15:54 R34a 「あかり」衛星による超大光度赤 外線銀河 UGC05101 の分光観測 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	11:24 S08a 「すざく」と RXTE によるセイファ ート銀河 NGC 2992 の観測: 長期変 動と鉄輝線の詳細分光 寺島雄一 (愛媛大学)
16:06 R35a 「すざく」による X 線で暗い楕円銀 河 NGC3923 の重元素組成比測定 戸塚 都 (広島大学)	11:36 S09a 「すざく」が捕らえた超高光度赤 外線銀河 IRAS 05189-2524 の X 線放射スペクトル変化と大規模な 2-10 keV フラックスの減少 穴吹直久 (大阪大学)
16:18 R36a Sloan Digital Sky Survey にお ける Faber-Jackson 関係のゼロ点の較正 中村 理 (早稲田大学)	11:48 S10b 那須観測所における高銀緯電波ト ラジェントの観測と解析 貴田寿美子 (早稲田大学)
16:42 R38a 中心核星形成が引き起こす銀河中心 への質量降着 渡部靖之 (筑波大学)	

11:48	S11b 狭輝線セIFAート1型銀河のVLBI撮像サーベイ 土居明広 (山口大学)	15:12	S21a AGN周囲分子ガスのHCN/HCO ⁺ : 輻射輸送計算による考察II 山田雅子 (国立天文台)
11:48	S12b 「すざく」による超高度赤外線銀河Arp 220の観測 藤本龍一 (金沢大学)	15:24	S22b 活動銀河核と中心核星形成との関係からダストトーラスの物理状態を探る 川勝 望 (国立天文台)
	S13c NGC6240のdouble-nucleiの電波連続波高空間分解能観測 萩原喜昭 (国立天文台)	15:24	S23b Subaru/XMM-Newton Deep Field (SXDF)における暗い可視変光AGNの性質 諸隈智貴 (東京大学)
	S14c 「あかり」北黄極大規模サーベイによるChandra衛星Hard X線源の同定 大藪進喜 (宇宙航空研究開発機構)	15:24	S24b z~1でのブラックホール質量とスフェロイド光度の相関関係 木内 学 (京都大学)
3月28日(水) 午後・F会場			S25c Ca II Infrared Triplet 輝線によるAGN BLRの構造の研究 小泉 修 (東北大学)
14:00	S15a BAL QSO SDSS J1723+5553におけるBalmer系列吸収線の発見 青木賢太郎 (国立天文台)		S26c 降着円盤の分子形成領域における光学的深さ 松本吉広 (熊本大学)
14:12	S16a Gas metallicity of narrow-line regions in high-z radio galaxies 長尾 透 (国立天文台)		S27c 活動銀河中心における降着円盤での分子冷却 その2 宮野順子 (熊本大学)
14:24	S17a スピッツァー宇宙望遠鏡によるキューサー kpc-scale ジェットの観測 内山泰伸 (宇宙航空研究開発機構)		
14:36	S18a 磁気リコネクションによるコロナ加熱を考慮したブラックホール降着流のX線放射モデル 川中宣太 (京都大学)		
14:48	S19a 巨大バイナリーブラックホール探査の新方法: 二つの降着円盤形成と光学強度の時間変動 早崎公威 (京都大学)		
15:00	S20a 活動銀河核での高温火の玉の生成 浅野勝晃 (国立天文台)		

T. 銀河団

3月28日(水) 午前・A会場		3月28日(水) 午後・A会場	
10:00	T01a 「すざく」衛星による銀河団からの硬X線放射の分光観測 北口貴雄 (東京大学)	11:48	T12b すざく衛星 XIS による銀河団外縁部の観測：バックグラウンドの差し引きについて 長井雅章 (大阪大学)
10:12	T02a 銀河団ガスの放射冷却と AGN の加熱エネルギーの比較 笹岡重樹 (東京理科大学)		T13c 小規模銀河群捕捉の数値シミュレーションに向けた SPH コード最適化 II 赤堀卓也 (東京都立大学)
10:24	T03a β モデルに基づいた中心ガス - 質量比の放射冷却による熱的進化 赤堀卓也 (東京都立大学)		
10:36	T04a すざく衛星による NGC5044 銀河群の観測 小宮山 円 (東京理科大学)	14:00	T14a 電波レリック源のX線撮像：降着衝撃波における超高エネルギー宇宙線加速を「見る」 井上 進 (国立天文台)
10:48	T05a すざく衛星による Coma 銀河団中の Fe と Ni の分布の決定と gas bulk motion の測定 佐藤拓也 (東京理科大学)		T15c 銀河団における乱流磁場による粒子加速 大野 寛 (山形短期大学)
11:00	T06a 「すざく」による Abell 1413 銀河団の周辺部の観測 星野晶夫 (首都大学東京)	14:12	T16a 乱流磁場中を運動する銀河団サブクラスターの3次元磁気流体数値実験 浅井直樹 (千葉大学)
11:12	T07a すざく衛星による高温銀河団 RXJ1347.5-1145 の観測 村瀬弘一 (埼玉大学)	14:24	T17a ワイベル不安定による温度勾配での磁場形成 藤田 裕 (大阪大学)
11:24	T08a 「すざく」XIS 検出器による衝突銀河団 Abell 3667 の観測 川原田 円 (東京大学)	14:36	T18b 銀河団サブハローの向き 矢作日出樹 (東京大学)
11:36	T09a 7 衝突銀河団の質量・バリオン分布 岡部信広 (東北大学)	14:36	T19b 衝突銀河団の N 体 + 電磁流体シミュレーション 滝沢元和 (山形大学)
11:48	T10b すざく衛星によるペルセウス銀河団の高温ガスバルク運動の測定 (1) 林田 清 (大阪大学)		
11:48	T11b すざく衛星によるペルセウス銀河団の高温ガスバルク運動の測定 (2) 金丸武弘 (東京理科大学)		

U. 宇宙論

3月28日(水) 午前・E会場	
10:00	U01b 宇宙膨張論の検証 (VIII-1 空間膨張宇宙における光の軌跡: (1) 軌跡上の点の座標) 阿武靖彦 (一)
10:00	U02b 宇宙膨張論の検証 (VIII-2 空間膨張宇宙における光の軌跡: (2) 一般式の算出) 阿武靖彦 (一)
10:00	U03b 宇宙膨張論の検証 (VIII-3 空間膨張宇宙における光の軌跡: (3) ドップラー効果の式) 阿武靖彦 (一)
10:12	U04a 一般相対論における3体問題 浅田秀樹 (弘前大学)
10:24	U05a Second-Order Quasi-Normal Mode of the Schwarzschild Black Hole 井岡邦仁 (京都大学)
10:36	U06a Halo approach による非線形重力ポテンシャルの解析 西澤 淳 (名古屋大学)
10:48	U07a ガンマ線バーストを用いて宇宙最小磁場を探る 市来浄興 (東京大学)
11:00	U08a 宇宙論的スケールでの重力波による磁場の増幅 黒柳幸子 (名古屋大学)
11:12	U09a Harmonic inpainting on God's fingerprint 井上開輝 (近畿大学)
	U10c 光子 - 宇宙項相互作用に対する宇宙背景放射からの制限 中村理央 (九州大学)
11:24	U11a SDSS における非等方相関関数 奥村哲平 (名古屋大学)
11:36	U12a バリオン音響振動で探るダークエネルギー: 摂動理論を用いた非線形成長と赤方偏移歪みの影響 西道啓博 (東京大学)
11:48	U13a 暗黒物質対消滅ニュートリノを用いた暗黒物質の制限 堀内俊作 (東京大学)
12:00	U14a 大離角重力レンズクエーサー SDSS J1029+2623 の発見 稲田直久 (東京大学)
12:12	U15b 密度場揺らぎの観測データによる宇宙論的磁場の起源の制限 山崎 大 (東京大学)
12:12	U16b 複数個のアーキを持つクラスターによるダークエネルギーへの制限 松本明子 (東北大学)
	U17c Topos-Theoretic Semantics for No Collapse Interpretation of Quantum Theory 中山薫二 (龍谷大学)

V. 地上観測機器

3月29日(木) 午前・F会場		3月29日(木) 午後・F会場	
10:00	V01a Ashra 実験 13: Mauna Loa サイトにおける建設と観測 浅岡陽一 (東京大学)	11:48	V13a 光干渉計 MIRA-I.2 におけるフリンジ追尾の方式 吉澤正則 (国立天文台)
10:12	V02a Ashra 報告 12: 光学閃光観測の現状 会田勇一 (東京大学)	3月29日(木) 午後・F会場	
10:24	V03a チベット高原における極超高エネルギーガンマ線観測計画 川田和正 (東京大学)	14:00	V14a すばるレーザーガイド星補償光学系ファーストライト 高見英樹 (国立天文台)
10:36	V04a JVO の研究開発 (全体進捗) 大石雅寿 (国立天文台)	14:12	V15a すばるレーザーガイド補償光学系プロジェクト: レーザーガイド星生成システムの試験報告 伊藤 周 (東京大学)
10:48	V05a JVO の研究開発 (すばる望遠鏡データ解析機能の導入) 白崎裕治 (国立天文台)		V16c すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: レーザーガイド星生成システムの性能評価 早野 裕 (国立天文台)
11:00	V06b JVO の開発研究 (分光データの取り込み) 川野元 聡 (国立天文台)	14:24	V17b すばるレーザーガイド星補償光学系ファーストライト: 動的性能の解析 服部雅之 (国立天文台)
11:00	V07b JVO の研究開発 (ワークフロー機能の向上) 田中昌宏 (国立天文台)	14:24	V18b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: KECK 望遠鏡レーザーガイド星用レーザーによるレイリー散乱光の影響 齊藤嘉彦 (国立天文台)
11:00	V08b 偏光干渉による対称型ナリングビームコンバイナの開発 村上尚史 (国立天文台)		V19c FEM によるモノモルフ型可変形鏡の特性解析 大屋 真 (国立天文台)
	V09c シェアリング干渉型波面センサーにおける波面復元アルゴリズムの開発 松川顕久 (法政大学)	14:24	V20b すばる望遠鏡ドームにおける熱環境調査 浦口史寛 (国立天文台)
11:12	V10a ナル干渉型ステラコロナグラフによる惑星光スペクトルの検出法 渋谷 宙 (北海道大学)	14:36	V21a ぐんま天文台可視高分散分光器 GAOES の現状 橋本 修 (ぐんま天文台)
11:24	V11a Polarization differential objective spectroscopy with nulling coronagraph. Zubko, Nataliya (北海道大学)	14:48	V22a 30 μm 帯マルチ・メタル・メッシュフィルタの開発 酒向重行 (東京大学)
11:36	V12a 30m 基線光干渉計 MIRA-I.2 におけるフリンジデータの自己キャリブレーション法 村上尚史 (国立天文台)		

		3月30日(金) 午前・F会場	
15:00	V23b 木曾広視野カメラ CCD コントロールシステムの開発 富田浩行 (東京大学)	10:00	V34a ハワイ島北西部沖地震によるすばる望遠鏡の被害と復旧状況 白田知史 (国立天文台)
15:00	V24b 木曾広視野カメラ機械系 樽沢賢一 (東京大学)	10:12	V35a ELT 情勢と活動報告 家 正則 (国立天文台)
15:00	V25b 広視野偏光装置 HOWPol の器械系および駆動系の開発 千代延真吾 (広島大学)	10:24	V36b 南極 2m 赤外線望遠鏡計画: 構想と基礎技術開発 市川 隆 (東北大学)
15:12	V26b ぐんま天文台 150cm 望遠鏡低分散分光・撮像装置 衣笠健三 (ぐんま天文台)		V37c 南極ドームふじの光赤外線におけるサイト環境 浦口史寛 (国立天文台)
15:12	V27b 赤外線アレイ検出器用 16 チャンネル A/D 変換回路の開発と評価 原口健太郎 (名古屋大学)	10:24	V38b 南極テラヘルツ望遠鏡計画 中井直正 (筑波大学)
15:12	V28b 京都大学花山天文台 回折格子自動回転装置の製作 仲谷善一 (京都大学)	10:24	V39b 2THz 帯 HEB ミクサ素子の開発 前澤裕之 (名古屋大学)
15:24	V29a むりかぶし望遠鏡ファーストライト 黒田大介 (国立天文台)	10:36	V40a NbTiN 薄膜を用いた格子冷却型 HEB ミクサの開発 新保 謙 (東京大学)
15:36	V30a MITSuME 望遠鏡の開発現状 下川辺隆史 (東京工業大学)	10:48	V41a HEB ミクサ素子の開発と性能評価 芝 祥一 (東京大学)
15:48	V31b 超広視野可視光カメラ WIDGET の移設・改良と現在の運用状況 桑原 允 (理化学研究所/東京理科大学)	11:00	V42a ALMA の建設 (6) 長谷川哲夫 (国立天文台)
15:48	V32b 可視光突発性天体広視野観測システムの開発 上原 健 (青山学院大学)	11:12	V43a ALMA Band8 受信機開発の進捗状況 - プレ量産 1号機へ向けて - 関本裕太郎 (国立天文台)
15:48	V33b 超精密非球面加工機を用いた脆性光学部材・鉄系材料の加工技術の開発 松下幸司 (名古屋大学)	11:24	V44a フィルム結合型準光学共振器を用いたサブミリ波での金属鏡面反射率の測定 高瀬 裕 (総合研究大学院大学)
		11:36	V45b ALMA Band10 受信機光学系の詳細設計 - ブロッキング等の影響 - 野原隆司 (大阪府立大学)
		11:36	V46b ALMA Band10 受信機構造体の設計及び光学系へ及ぼす影響の評価 稲岡和也 (大阪府立大学)

11:36	V47b 全天スキャン型高精度小口径電波望遠鏡によるサブミリ波絶対強度較正法の基礎開発 (Ⅲ)：専用望遠鏡の制御・計測ソフトウェア開発とファーストライト 福原将之 (東京大学)	3月30日(金) 午後・F会場	
11:48	V48a 野辺山 45m 鏡とミリ波干渉計のデータ結合 黒野泰隆 (東京大学)	14:30	V60a NANTEN2 望遠鏡：サブミリ波による本格的な観測開始 大西利和 (名古屋大学)
12:00	V49b ALMA サイトの電波シーイングモニタに見られるエネルギースペクトル 石崎秀晴 (国立天文台)	14:42	V61a 海王星を用いたミリ波干渉計フラックスキャリブレーションの妥当性について 中山裕子 (茨城大学)
12:00	V50b ASTE 搭載サブミリ波カメラ極低温電子回路の開発 中橋弥里 (東邦大学)	14:54	V62a 高銀緯電波トランジェントの正体推測と観測の高感度化 大師堂経明 (早稲田大学)
12:00	V51b ミリ波サブミリ波マルチフーリエ天体干渉計を用いた天体観測実施の為のシステム開発と試験観測の現状 茅根裕司 (東北大学)	15:06	V63a 高銀緯で観測される電波トランジェント 新沼浩太郎 (早稲田大学)
12:12	V52b 東京大学 60cm 電波望遠鏡 (VST) リニューアルの総括 依田崇弘 (東京大学)	15:18	V64a 那須 20m 干渉計スカイサーベイ 2006 岳藤一宏 (早稲田大学)
12:12	V53b 1.85m 電波望遠鏡開発の進捗状況 海田正大 (大阪府立大学)	15:30	V65a 光結合 VLBI サイエンス試験観測、検討報告 藤澤康司 (法政大学)
12:12	V54b 1.85m 電波望遠鏡の制御系の開発 奥野宏文 (大阪府立大学)	15:42	V66a 光結合 VLBI 工学試験報告 河野裕介 (国立天文台)
12:24	V55b 安定性を重視した低雑音 HEMT アンプの開発 小嶋崇文 (大阪府立大学)	15:54	V67a RF 帯直視広帯域スペクトル検出技術の開発 川口則幸 (国立天文台)
12:24	V56b 野辺山 45 m 鏡メトロロギー機能の開発 III 久野成夫 (国立天文台)	16:06	V68a 三鷹 FX 相関器互換のソフトウェア相関処理システムの構築 2 木村守孝 (情報通信研究機構)
12:24	V57b 野辺山における最近の電波環境、3.75GHz 帯での混信対策 篠原徳之 (国立天文台)	16:18	V69a スタンダードペア (QSO ペア) 観測による VERA の精度検証 小山友明 (国立天文台)
12:36	V58b 野辺山動スペクトル計の HI 望遠鏡への改修とその初期成果 佐藤奈穂子 (和歌山大学)	16:30	V70a 臼田 64m 鏡によるメタノールメーザー観測 望月奈々子 (宇宙航空研究開発機構)
	V59c 大学 VLBI 連携観測の現状と将来計画 藤沢健太 (山口大学)		

W. 飛翔体観測機器

3月28日(水) 午後・G会場	3月29日(木) 午前・G会場
15:00 W01a Phase-A 期に入った VSOP-2 計画 平林 久 (宇宙航空研究開発機構)	10:00 W14a すざく搭載 X 線 CCD カメラ XIS の Spaced-row Charge Ingection 機 能の機上試験・較正 内山秀樹 (京都大学)
15:12 W02b ASTRO-G/V SOP-2 計画の機器開 発の現状 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)	10:12 W15a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD) 主検出部の現状 (III) 中澤知洋 (宇宙航空研究開発機構)
15:12 W03b ASTRO-G 衛星におけるオフセット カセグレンアンテナ光学系の検討 木村公洋 (大阪府立大学)	10:24 W16a 「すざく」衛星搭載 硬 X 線検出器 広帯域全天モニタ部 (HXD-WAM) の現状 (III) 山岡和貴 (青山学院大学)
15:12 W04b 電波天文衛星 Astro-G/V SOP-2 冷 却受信系 (2) 春日 隆 (法政大学)	10:36 W17a X 線天文衛星 Suzaku による撮像デー タのための画像復元プログラムの開発 杉崎 睦 (スタンフォード大線形 加速器センター)
15:24 W05b VSOP-2 衛星搭載用多モードホーン の検討 氏原秀樹 (国立天文台)	10:48 W18a Swift 衛星 BAT 検出器の応答関数の 高エネルギー帯域への拡張 恩田香織 (埼玉大学)
15:24 W06b VSOP-2 搭載用 8GHz 帯フィード ホーン測定系の開発 利川達也 (大阪府立大学)	11:00 W19a サブ MeV ガンマ線観測気球実験 SMILE の 2006 年フライト報告 窪 秀利 (京都大学)
15:24 W07b VSOP-2 搭載用 8GHz 帯ポーラ ライザーの開発 城山典久 (大阪府立大学)	11:12 W20a 小型衛星の編隊飛行による広天硬 X 線観測計画 常深 博 (大阪大学)
15:36 W08b VSOP-2 搭載用 8GHz 帯常温 HEMT アンプの開発 黒住聡丈 (大阪府立大学)	11:24 W21b すざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ XIS のバックグラウンドについて 2 田和憲明 (大阪大学)
15:36 W09b 「ひので」搭載撮像望遠鏡間の指向 アライメントの評価 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	11:24 W22b 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線 監視装置の開発状況 三原建弘 (理化学研究所)
15:36 W10b 「ひので」可視光・磁場望遠鏡の軌 道上光学性能評価 末松芳法 (国立天文台)	11:24 W23b 全天 X 線監視装置 MAXI の突発天 体発見システム 齊藤裕紀 (日本大学)
15:48 W11b ひので可視光望遠鏡の画像安定化装 置の軌道上性能 永田伸一 (京都大学)	11:36 W24b DIOS 搭載用 X 線望遠鏡の最適設計 田原 譲 (名古屋大学)
15:48 W12b 「ひので」X 線 CCD カメラの軌道上 機能性能検証報告 鹿野良平 (国立天文台)	11:36 W25b X 線ガンマ線偏光観測小型衛星 Polaris 計画 林田 清 (大阪大学)
W13c 「ひので」衛星の微小擾乱と可視光 望遠鏡の像安定度の評価 一本 潔 (国立天文台)	

11:36	W26b X-mas 計画のための閉ループ制御の性能評価 大久保洋輔 (立教大学)	15:12	W37b ガンマ線バースト偏光観測装置の実機モデルの製作と性能評価 米徳大輔 (金沢大学)
11:48	W27b 補償光学を使った斜入射型望遠鏡の開発 荻田喬行 (立教大学)	15:24	W38b Si ドリフトチェンバーを用いた次世代ガンマ線バースト検出器の開発 (II) 山岡和貴 (青山学院大学)
	W28c すざく衛星搭載 X 線 CCD (XIS) の現状報告 松本浩典 (京都大学)	15:24	W39b 硬 X 線偏光度検出器 PHENEX によるかに星雲の観測: 2006 年三陸気球実験データ解析結果 穴吹直久 (大阪大学)
3 月 29 日 (木) 午後・G 会場			
14:00	W29a in-house 製作による TES 型 X 線マイクロカロリメータの性能評価 倉林 元 (首都大学東京)	15:36	W40a 硬 X 線、ガンマ線観測用 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠鏡の開発 IV 石川真之介 (宇宙航空研究開発機構)
14:12	W30a 次期 X 線天文衛星と透過型電子顕微鏡搭載をめざした X 線 TES マイクロカロリメータ、デジタル処理系の開発 萩原利士成 (宇宙航空研究開発機構)	15:48	W41a 0.5mm 厚低ノイズ両面 Si-strip 検出器の開発 安田 創 (広島大学)
14:24	W31a X 線マイクロカロリメータ信号読みだし用 8 入力 SQUID の性能評価 木村俊介 (宇宙航空研究開発機構)		W42c 気球搭載硬 X 線偏光計 PoGOLite の波形弁別部の評価試験 水野恒史 (広島大学)
14:36	W32a X 線 CCD の高速読み出しを目指したアナログ LSI の開発 松浦大介 (大阪大学)	3 月 30 日 (金) 午前・G 会場	
14:48	W33a BP-1 ガラス製マルチコリメータを用いた X 線 CCD の電荷雲形状の実測 阿部幸二 (東京理科大学 / 理研)	10:00	W43a JASMINE (赤外線位置天文観測) 計画の新しいバージョンにおける進捗状況 郷田直輝 (国立天文台)
15:00	W34a Xe ガスを用いた光電子追跡型 X 線偏光計の性能評価 岩本慎也 (理化学研究所 / 東海大学)	10:12	W44b JASMINE 計画—熱解析と鏡材の検討 矢野太平 (国立天文台)
15:12	W35b 透過型 X 線偏光計の設計と実験データを元にしたシミュレーション 玉川 徹 (理化学研究所)	10:12	W45b Nano-JASMINE (超小型衛星を用いた高精度位置天文観測) 計画 菅沼正洋 (国立天文台)
15:12	W36b 透過型多層膜偏光計の製作と偏光測定実験 齊藤恒介 (立教大学)	10:12	W46b 超小型衛星 Nano-JASMINE のデータ処理回路の開発 山内雅浩 (東京大学 / 国立天文台)
		10:24	W47a カルマンフィルターの応用による JASMINE データ解析手法 山田良透 (京都大学)

		3月30日(金) 午後・G会場
10:36	W48a 赤外線天文衛星「あかり」の現状と初期成果 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)	14:30 W60a 気球搭載硬 X 線撮像実験 SUMIT : 2006 年フライト結果 小賀坂康志 (名古屋大学)
10:48	W49a 「あかり」搭載遠赤外線サーベイヤー FIS の軌道上での性能評価 川田光伸 (名古屋大学)	14:42 W61a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 SUMIT: 姿勢制御系の性能評価 上野大輔 (名古屋大学)
11:00	W50a 「あかり」衛星搭載近中間赤外カメラ IRC キャリブレーション 田辺俊彦 (東京大学)	14:54 W62a 気球搭載硬 X 線撮像実験 SUMIT: 硬 X 線望遠鏡の開発 宮澤拓也 (名古屋大学)
11:12	W51a SPICA コロナグラフ: 進捗および惑星検出可能性の評価について 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	15:06 W63a 気球搭載硬 X 線撮像実験 SUMIT: 位置検出型シンチレーション検出器の開発 加納康史 (名古屋大学)
11:24	W52b 「あかり」搭載近中間赤外線カメラ IRC に与える放射線の影響の評価 丹下 勉 (宇宙航空研究開発機構)	15:18 W64a 硬 X 線結像観測気球実験 SUMIT : 焦点面検出器 SD-CCD 開発 宮田恵美 (大阪大学)
11:24	W53b 「あかり」IRC によるカメレオン領域広域マッピング観測用データ処理パイプライン開発と性能評価 瀧田 怜 (東京工業大学)	15:30 W65a 硬 X 線望遠鏡の視野の評価 佐々木直樹 (名古屋大学)
11:24	W54b PIAA/ バイナリマスク・ハイブリッド解の実験的検証 田中深一郎 (東京大学)	15:42 W66a X 線望遠鏡用多層膜反射鏡の硬 X 線反射率評価 岩原知永 (名古屋大学)
11:36	W55a 遠赤外 / サブミリ波 GaAs 光電導検出器の開発 上野真樹 (東海大学)	15:54 W67a ISAS X 線ビームラインによる 2 段 1 体型望遠鏡基板の評価 栗木久光 (愛媛大学)
11:48	W56a マイケルソン天体干渉計のための新しい測定方式の提案 松尾太郎 (名古屋大学)	16:06 W68a 高精度アライメントによる X 線望遠鏡の結像性能向上の研究 窪田 廉 (首都大学東京)
12:00	W57b 次世代遠赤外線ゲルマニウム検出器の開発 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)	16:18 W69a NeXT 衛星搭載に向けた硬 X 線望遠鏡用 Pt/C 多層膜反射鏡の開発研究 中村良子 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)
12:00	W58b 超広帯域宇宙マイクロ波偏光気球観測への MuFT の応用 服部 誠 (東北大学)	16:30 W70a 将来衛星に向けた MEMS X 線光学系の開発 (3) 輿石真樹 (宇宙航空研究開発機構)
12:00	W59b 50-300 μm 帯観測のための気球望遠鏡開発 直井隆浩 (宇宙航空研究開発機構)	

X. 銀河形成

3月28日(水) 午後・E会場		10:12	X13b SSA22 領域における LAEs 形成モデルの応用 II 清水一紘 (筑波大学)
14:00	X01a 天の川創成プロジェクト V: 低温高密度ガスからの星形成 斎藤貴之 (国立天文台)	10:12	X14b N 体計算とダスト進化モデルによる high- z 高光度赤外線銀河分布 諏訪多聞 (筑波大学)
14:12	X02a Ultra metal-poor star は何故ハロー中に見つからないのか? 大向一行 (国立天文台)	10:24	X15a 銀河間中性水素吸収のモンテカルロシミュレーション 井上昭雄 (大阪産業大学)
14:24	X03a 宇宙シミュレータ FIRST 2007 梅村雅之 (筑波大学)	10:36	X16a $z \sim 3.5$ における MgII 吸収線系の個数密度 南 篤志 (東京大学)
14:36	X04a FIRST による第一世代星形成領域の大規模シミュレーション 諏訪多聞 (筑波大学)	10:48	X17a COSMOS プロジェクト: 初期研究成果 谷口義明 (愛媛大学)
14:48	X05a 宇宙第一世代天体における巨大ブラックホール形成 高野祐介 (筑波大学)	11:00	X18a COSMOS プロジェクト: 赤方偏移 $z \approx 5.7$ の Ly α 輝線天体探査 村山 卓 (東北大学)
15:00	X06a 超臨界降着流によるブラックホール質量-星の速度分散関係の構築 大須賀 健 (立教大学)	11:12	X19a COSMOS プロジェクト: 赤方偏移 $z \approx 0.24$ の H α 輝線天体探査 塩谷泰広 (愛媛大学)
15:12	X07a 第一世代星の超新星爆発による星形成誘起 佐久間 優 (立教大学)		X20c COSMOS プロジェクト: 赤方偏移 $z \approx 1.2$ の [O II] 輝線天体探査 高橋真理 (東北大学)
15:24	X08a 超新星爆発による周囲のガスの熱的進化とエネルギー再分配 長倉隆徳 (東京大学)	11:24	X21a Subaru/XMM-Newton Deep Field-South における $z \sim 3$ の Lyman-break 銀河のクラスタリングの性質 II 吉田真希子 (東京大学)
15:36	X09a 原始銀河における星形成率と衝撃波起源のランマンアルファ放射の関係 森 正夫 (専修大学)	11:36	X22a すばる望遠鏡 AO による赤方偏移 3 ライマンブレイク銀河の形態探査 秋山正幸 (国立天文台)
15:48	X10a 質量降着期を含む第一世代星形成における磁場の散逸 須佐 元 (立教大学)	11:48	X23b 赤方偏移 5~6 に存在するライマンブレイク銀河における Ly α 輝線強度の紫外光度依存性 安東正隆 (京都大学)
3月29日(木) 午前・E会場		11:48	X24b Stellar masses of Lyman break galaxies at $z \sim 5$ 矢部清人 (京都大学)
10:00	X11a 原始銀河からの電離光子の脱出過程 矢島秀伸 (筑波大学)		
10:12	X12b 初代星形成における光電離のフィードバックの系統的研究 須佐 元 (立教大学)		

Y. 天文教育・その他

11:48	X25b Spitzer/IRAC による BzK 銀河の赤外測光観測 林 将央 (東京大学)	3月28日(水) 午前・G会場	
12:00	X26b サブミリ銀河と dusty ERO の個数密度の関連性 今井弘二 (宇宙航空研究開発機構)		
3月29日(木) 午後・E会場			
14:00	X27a SSA22 z=3 Huge Over-Density Region と Millennium simulation 林野友紀 (東北大学)	10:00	Y01a 4次元デジタル宇宙プロジェクトの概要 観山正見 (国立天文台)
14:12	X28a SSA22 z ~ 3 VLT/VIMOS による LBG/LAE 広域分光の初期結果 香西克紀 (東北大学)	10:12	Y02a 4次元デジタル宇宙ビューワー Mitaka 加藤恒彦 (国立天文台)
14:24	X29a MOIRCS Deep Survey: Distant Red Galaxies 鍛冶澤 賢 (国立天文台)	10:24	Y03a 4D2U プロジェクトにおける粒子系シミュレーションデータの可視化 武田隆顕 (国立天文台)
14:36	X30a MOIRCS Deep Survey: GOODS-N 領域における恒星質量に基づく低質量銀河のクラスタリング進化 市川 隆 (東北大学)	10:36	Y04a 4次元デジタル宇宙プロジェクトー格子データの可視化 林 満 (国立天文台)
14:48	X31a すばる MOIRCS による z=3.09 銀河高密度領域 SSA22 フィールドの近赤外撮像観測 内一・勝野由夏 (東京大学)	10:48	Y05a ドームおよび任意形状スクリーンへの投影補正技術の開発 高幣俊之 (理化学研究所)
15:00	X32a 「あかり」による近中間赤外線での深宇宙探査試験観測 I. 撮像性能実証と銀河計数 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)	11:00	Y06a 4D2U ナビゲーター: Flash を用いたウェブ上のインタラクティブ天文コンテンツの制作 額谷宙彦 (理化学研究所)
15:12	X33a 「あかり」による近中間赤外線での深宇宙探査試験観測 II. 中間赤外線源の可視光同定 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)	11:12	Y07a インフィテックを用いた可搬型立体投影システムの開発とその運用におけるコンテンツの評価 奥野 光 (財団法人日本科学技術振興財団)
15:24	X34a 「あかり」によるロックマンホールの遠赤外ディーブサーベイ 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)	11:24	Y08b 4次元デジタル宇宙プロジェクトのコンテンツ公開と利用状況に関する評価 縣 秀彦 (国立天文台)
15:36	X35a シリケイト・ブレイク銀河: 「あかり」による遠方赤外線銀河の多波長 SED 解析 高木俊暢 (宇宙航空研究開発機構)	11:24	Y09b 宇宙を表現するイベント「cosmos01」実施報告 ~芸術的アプローチによる試み~ 有本淳一 (京都市立塔南高校)
		11:24	Y10b モバイル・プラネタリウムの現状と運用実験 渡部義弥 (大阪市立科学館)

11:36	Y11b 「一家に1枚 天文図」の作成と配布 - 時間と空間の広がりをもつ1枚の絵で - 小阪 淳 (小阪淳事務所)	Y23c すばる観測画像を用いた銀河教材の 開発 畠 浩二 (岡山商科大附属高校)
11:36	Y12b 立教大学理学部 CBLIS プログラムに おける天文分野の教育連携 矢治健太郎 (立教大学)	14:36 Y24b 京都大学花山天文台における高校生 の太陽観測実習 石井貴子 (京都大学)
11:36	Y13b 算数を取り入れた小学校での授業例 - 教育効果を上げるための試み - 白田 - 佐藤 功美子 (国立天文台)	14:36 Y25b GAO-ITB リモート望遠鏡システム を用いた教育活動 田口 光 (ぐんま天文台)
11:48	Y14b 小さい子供が楽しめる授業例 白田 - 佐藤 功美子 (国立天文台)	14:48 Y26b パラボラアンテナを用いた高校での SPP 授業 御子柴 廣 (国立天文台)
11:48	Y15b 保育園での天文アウトリーチ活動 富田晃彦 (和歌山大学)	14:48 Y27b 学生による2m電波望遠鏡の製作と 高校での教育実践 尾久土正己 (和歌山大学)
3月28日(水) 午後・G会場		
14:00	Y16a すばるキッズで見る日本のキッズ 布施哲治 (国立天文台)	14:48 Y28b 水素21cm波観測用の2.3m電波 望遠鏡の立ち上げ 時政典孝 (兵庫県立西はりま天文台)
14:12	Y17a 星空案内人(星のソムリエ)資格認 定制度の創設 柴田晋平 (山形大学)	Y29c VLBI観測で得られた地球自転速度 変動と励起量におけるノイズの低減 眞崎良光 (国土地理院)
14:24	Y18b 星空案内人資格認定講座の実施状況 について 渡邊瑛里 (山形大学)	
14:24	Y19b 天プラによる地域の力を活かした天 文普及活動 平松正顕 (東京大学)	
14:24	Y20b アストロバイオロジー教育のすすめ II. 高校生に対する教育効果 成田憲保 (東京大学)	
14:36	Y21b 公開天文台に関するアンケート調査 の結果 小野智子 (国立天文台)	
	Y22c 天文普及におけるプラネタリウムの 活用法・2 栗野諭美 (岡山天文博物館)	

第9回ジュニアセッション

主催：日本天文学会
共催：天文教育普及研究会、高校生天体観測ネットワーク
後援：日本惑星協会

- ◆口頭セッション : 3月28日(水) 10:30～12:15、14:00～16:05 天文学会春季年会 H会場
◆ポスターセッション : 3月28日(水) 13:00～13:55、16:05～17:00
(ポスターは3月30日14:30まで掲示) 天文学会春季年会 ポスター会場
◆特別講演 : 3月28日(水) 10:05～10:30

10:00 開会**10:05～10:30 特別講演**

惑星の定義－冥王星の運命は？－ 渡部 潤一 (国立天文台)

10:30～11:10 セッション1：流星・小惑星 (講演各5分+質疑5分)

01：流星の光度変化

茂呂彩花、猪野亜季子、鈴木佳南子 (高2) 【埼玉県立越谷北高等学校】

02：2006年ふたご座流星群電波観測の報告

西内一起 (高1)、山口晋弘、和賀井翔 (中3)、窪田敦、山本海 (中1) 【那須高原海城中学校・高等学校】

03：流星塵様鉄質球粒物質の形状について

弘田庄子、森千佳、橋本茉美、中江桂子、上田真祐子、寒川賀奈子、上出優里亜 (高3)、清水萌子、佐野真友里、上出梨紗、美川真奈、西澤春花 (中2) 【聖母学院中学高等学校理科部天文班】

04：小惑星のライトカーブ測定による、形状と自転軸の研究

藤井涼、串田穂野香 (高2)、篠川大輔 (高1) 【福岡県立小倉高等学校科学部 (SS天文研究会)】

05：精密模型を用いた小惑星イトカワの測光実験

志村康成、中村真、江森翠、横田香菜子 (高1) 【成蹊高校天文気象部】

06：惑星の定義における形状の研究

林剛久、田中孝市、大澤大、亀崎悠 (高1) 田中義彦、藤本康文、高橋賢彦 (中3) 【巢鴨学園地学班】

07：冥王星及びカロンの同時探査ミッション

須藤理江 (高3) 【大船高校】、中田花子 (高2) 【札幌開成高校】、川村瑠璃 (高1) 【高松高校】

11:10～11:45 セッション2：惑星 (講演各5分+質疑5分)

08：星の色について

那須真良樹 (中2)、那須範奈 (中1)、那須奈緒美 (小6) 【スターキッズ】

09：木星の縞と赤斑の成分推定

笠嗣瑠 (高1) 【東京大学教育学部中等教育学校】

10：土星のスペクトル観測

青祐太朗、篠崎駿、佐藤航 (高1)、大谷勇紀、伊藤桂 (高3) 【慶應義塾高等学校地学研究会】

11：ガリレオ衛星の画像解析と木星の質量の推定

岩井貴寛 (高1)、田中裕也 (高2)、久永容嵩 (高1)、檜木梨花子 (高3) 【磐田南高校】

12：火星温暖化～とける氷 もえる火星～

今井祐希 (高1) 【大阪府立住吉高等学校】、専光寺旭洋 (高1) 【熊本県立熊本高等学校】、入山莉紗 (高2) 【ルーテル学院高等学校】、酒井良典 (高2) 【東海高等学校】

13：GPS ミッション ～ Google PlanetS & Global Positioning System ～

石丸公基 (高3) 【日本大学習志野高校】、田中裕也 (高2) 【静岡県立磐田南高校】、古川恵理香 (高2) 【香川県立丸亀高校】、伊藤早紀 (高1) 【大阪府立住吉高校】、増川千紗 (高1) 【熊本県立第二高校】

11:45～12:15 セッション3：太陽面通過（講演各5分+質疑5分）

14：水星の太陽面通過について

高田理恵、土屋明香、渡邊由依、石井彩、石川絵梨、星野浩余、増田佳菜子、佐藤ちひろ、竹内千晶、長野瞳（高2）、道祖土由香、飯島奈央、江口美紀、柴野瑛美子、堀内理沙、柳澤里香、峠早織、朝比奈怜美、小泉晴菜、永江美里、佐藤千織、布施田淳子（高1）【星野高校天文部】

15：水星の太陽面通過から1AUを求める

大澤大（高1）【巣鴨高等学校】

16：水星の太陽面通過とケプラーの第2法則

北村侑里香、西川友梨（高専1）【長野工業高等専門学校】

17：実験と観測から探るブラックドロップ～高専生の職人魂～

鈴木敬吾、大日方利光、今井涼介、熊川銀河、柴田晃佐、山田英史（高専3）、青柳克道（高専2）、兒玉直人（高専1）【長野工業高等専門学校】

18：水星の日面通過を利用した黒点の温度測定

中江祥平（高専3）、和田泰治、近藤直弥（高専2）、近藤亮介、堀江麗、小松紀由、大島功也（高専1）【米子工業高等専門学校科学部】

12:15～13:00 昼休み

13:00～13:55 ポスターセッションA

※主にセッション1～3の発表者がポスターの説明をする。

14:00～14:30 セッション4：太陽（講演各5分+質疑5分）

19：赤外放射温度計を用いた太陽の温度推定の試み

森里文哉（高1）、長谷川聡一郎、古川恵理香（高2）、鎌谷裕子、横関幸久、篠原啓、椎田敦之、東駿次郎（高1）【香川県立丸亀高等学校】

20：写真撮影したプロミネンスと太陽活動との比較

柳下未来、丸山華奈、林真依子、天谷春菜、佐藤祐理、肥田麻耶、渡辺亜衣（高2）、梅沢侑里、大谷明子、岩崎博美（高1）【武蔵野女子学院地学部】

21：プロミネンスの速度場

青山勇氣、森坂輩之（高3）、梅村智己、吉岡純一（高1）【京都府立洛東高等学校】

22：浮上磁場領域の視線速度分布

河原梓乃、山北美夢、水野隆博（高1）【京都府立洛東高等学校】

23：太陽電波を捉える

加倉井沙知、石川優水、大和田詠里、後藤優季【茨城県立水戸第二高等学校】

14:30～15:05 セッション5：恒星（講演各5分+質疑5分）

24：激変星 IP Peg の測光観測（II）

寺田彩乃、後藤香寿美、柳瀬悠（高2）【京都府立洛東高等学校】

25：食変光星のライトカーブと解析

大野裕司、横山一樹、廣田真子（高2）、河村玄気、大野卓也、山本直人（高1）【愛知県立一宮高等学校地学部】、鷺見直哉、戸崎瑛子、田尻真（高2）、青木孝憲、浅井夢帆（高1）【岐阜県立岐山高等学校地学物理部】、佐々木未来、土屋恵、西脇成美（高2）、藤井泰人、向井良騎（高1）【岐阜県立大垣東高等学校理数科】

26：恒星のスペクトルを観察し、その特徴を調べる

国友和樹（高2）、石井涼（高1）【岡山商科大学附属高等学校自然科学部】、美星天文台「星の学校2006」参加者

27：壮大なる星の死 ～死にゆく星の姿に迫る～

浅岡宏光（高2）【岐阜県立恵那高等学校】、荒川尚樹（高3）【栄光学園高等学校】、
川島悠岐（高2）【兵庫県立大学附属高等学校】、佐々木彩奈（高3）【岐阜県立中津高等学校】、
末松環（高2）【洗足学園高等学校】、安江紗那子（高2）【長野県木曽高等学校】

28：発光メカニズムから見た星雲と星との関係

山村昇平（高2）【岐阜県立恵那高等学校】、黄未来（高3）【私立早稲田実業学校】、
尾上匡房（高2）【私立栄光学園高等学校】、山岡佳代（高3）【千葉県立柏高等学校】、
外戸千晶（高2）【長野県木曽高等学校】、櫻井茜（高2）【新潟県立新潟高等学校】、
深瀬雅央（高3）【私立本郷学園高等学校】、小林新（高2）【神奈川県立神奈川総合産業高等学校】

29：星雲や星団の写真集作成と分光観測

三隅直哉、藤田幸（高2）【福岡県立小倉高等学校科学部（SS天文研究会）】

15:05～15:30 セッション6：銀河（講演各5分+質疑5分）

30：球状星団の空間分布図作成～公共天文台を利用した変光星観測～

※ポスター発表のみ

大野裕司、横山一樹、廣田真子（高2）、河村玄気、大野卓也、山本直人（高1）【愛知県立一宮高等学校地学部】、
鷺見直哉、戸崎瑛子、田尻真（高2）、青木孝憲、浅井夢帆（高1）【岐阜県立岐山高等学校地学物理部】

31：銀河における星の出生率を求める

青木すみれ（高3）【神奈川県立神奈川総合高校】、各務聡一郎（高2）【東海大学付属第三高校】、済藤祐理子（高3）【長野県木曽高校】、
栃原豊生（高2）【兵庫県立大学附属高校】、藤原佑佳子（高2）【長野県木曽高校】

32：銀河系内のダストによる減光について

藤原佑佳子、安江紗那子、外戸千晶（高2）、済藤祐理子（高3）【長野県木曽高等学校天文部】

33：私たちの銀河を知るために ～銀河の回転速度の計測と検証～

五百住優太、中谷真太郎（3年）、宮城宇志（2年）【兵庫県立大学附属高校】

34：2m電波望遠鏡の製作と中性水素21cm線の検出

國安正志（高2）【宇部高等学校】

15:30～16:00 セッション7：環境・観測装置・人工天体（講演各5分+質疑5分）

35：「ひかりのまち・函館」の夜空の明るさを調べる

倉又千咲、鈴木万里奈（高1）、渋谷萌音、田中美羽（中2）、本間亜弥、谷川奈緒実、川北千沙都（中1）
【遺愛女子中学高等学校地学部】

36：夜空の明るさV

長富紗良（高3）、長野櫻子、谷口和成、添田陽平、河津誠二（高2）、土井毅（高1）【東筑紫学園高等学校理科部】

37：「光害」を減らすために

金子泰洗、小貫友里、田中美紗子、山中涼平（高2）、田中賢二、田中宏昌（高1）【茨城県立土浦第一高等学校地学部】

38：O3（オッサン）

中田星子（高2）【札幌開成高校】、尾澤理美（高2）【玉川学園高等部】

39：最先端の金属鏡の研究

森島かなえ、富山香里【茨城県立水戸第二高等学校】

40：国際宇宙ステーション観測イベント“Discover the ISS”

※ポスター発表のみ

板倉慧（高3）【東京工業大学附属科学技術高等学校科学部】

16:05～17:00 ポスターセッションB

※主にセッション4～7の発表者がポスターの説明をする。

17:00 閉会

※ポスターは会期中（3/30 14:30まで）は継続して掲示できます。

2007年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	中本泰史	(東京工業大学)
委員	青木和光	(国立天文台)
	岡朋治	(東京大学)
	金田英宏	(宇宙航空研究開発機構)
	鹿野良平	(国立天文台)
	幸村孝由	(工学院大学)
	鈴木知治	(東京大学)
	本間希樹	(国立天文台)
	本原顕太郎	(東京大学)
	泉浦秀行	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

比田井昌英 (東海大学)